

幸福度調査

イシズム株式会社 殿

四日市大学 岩崎 閱 第二版

2023年11月30日

株式会社オークジャパン

① シェアハウスなどの共同生活についての状況調査

シェアハウス「花鳥風月」は住宅確保要配慮者を対象としたシェアハウスで、共生を目的としたコミュニティ創出をおこない、以下の項目を推進する事で、幸福度向上を前提として⑤アンケート手法を用いて状況調査します。

- 1, 自然の中で農のある生活
- 2, 選択できる食の提供
- 3, 生活のシェアで環境・経済的自立の恩恵
- 4, 生活の質の向上
- 5, 生活者の幸福度向上

さらに、本コミュニティ創出をおこない入居者やその他本事業にかかわる人たちの幸福度調査を、国連主導のSDGs(以下の目標の達成が可能性)観点から、本事業をアンケート形式で意見を求めながら、後述の本事業運営の確認並びに運営方法について生かしていくものとする。

- 1, 本事業が“福祉を根底にした愛ある・支えあえる・一人ひとりを認める”住宅確保要配慮支援花鳥風月シェアハウスにおいてのコミュニティの可能性を探

り、要配慮支援を受ける入居者たちの幸福度向上をめざす。

2、シェアハウス「花鳥風月」のコンセプトや取り組みの自治体や関係者と連携した広報・告知によって、より多くの人々の安心や幸福感をもたらす。



監修者からの要検討事項 SDGsの項目を挙げるのであれば、施設の設定趣旨からいっても、アジェンダ前文の「誰一人取り残さない」は最初のところで高らかに触れておく必要があると思います。この報告書の最後には触れていますもんね。また、目標11「住み続けられるまちづくりを」はいれなくていいでしょうか。小さなコミュニティですが、生産も働きがいも自己肯定感も求めるという、いわば持続可能なちいさなまちを目指す理想的な試み・実践ともいうことができますので。

② ①を踏まえて菰野町シェアハウスの状況、推移状況調

査

菰野町では住宅確保要配慮者向けシェアハウスはこれまで皆無で本事業において初めての試みである。

③ 学術機関よりの監修

①について本課題についての研究をおこなう機関（四日市大学）への監修を行うこととした。

④ 今後の方向性を含めた総括

本アンケート結果を踏まえ総括をおこなった。

⑤ アンケート調査レポート

以下の後述のとおり

アンケート調査レポート

[1]SDGs 経営への取組みアンケート

[2]菰野町シェアハウス「花鳥風月」から幸福を考えるアンケート

監修者からの一言

アンケート調査は、その成否のかなりの部分を質問票の設計に負うという。今回、監修を求められたのは、調査票の設計段階からではなく、集計結果の評価についてであった。そのため、

「SDGs 経営への取組みアンケート」（以下「SDGs アンケート」と

略)、「シェアハウス『花鳥風月』から幸福を考えるアンケート」(以下、「幸福を考えるアンケート」と略)の両者とも、その配布対象・回収結果が、それぞれの母集団の構成を反映したものとなっているかどうかについての検討はしていない。また、サンプル数の少なさ、回答者属性にみる偏りからいっても、トピック分析の妥当性についても疑問ではある。

とはいえ、結果については、「SDGs アンケート」、「幸福を考えるアンケート」の両者とも、今後の取組みの深化を考える際の手がかりを得たという点では貴重であるといえよう。

地元菰野町では、町の次期総合計画の策定に向けて来年度は行動計画が策定される。そこで、一人暮らし高齢者世帯の増加と激増する空き家を繋げようとする、この意欲的なプロジェクトが、二つのアンケート調査の結果を踏まえることによって、菰野町の次期総合計画に反映され、さらには、その取組みが三重県北勢地域に広がっていくことを期待したい。

なお、2023年12月に2020年国勢調査に基づく2045年までの市町村別人口推計が公表されているので、参考までに掲げておく。

菰野町の場合、北勢地域にもものづくり産業の立地がこれからも

続くと見込まれるため、総人口の減少はさほど顕著ではない。

菰野町	総人口	指数	65 歳以上人口	うち 75 歳以上人口	うち 85 歳以上人口
2020年	40559	100.0	10726	5614	1218
2025年	39615	97.7	10965	6543	1345
2030年	39254	96.8	11374	6815	1664
2035年	38731	95.5	12008	6786	2026
2040年	38059	93.8	12982	6942	2070
2045年	37232	91.8	13250	7436	1998

しかし、高齢者は確実に増加し、75 歳以上人口の 15～20%は、何らかの生活上の課題を抱えるようになり、85 歳以上では、その比率は 50%を超えるという。また、75 歳以上では、現在、53%が独居(2020 年国勢調査結果による)であり、85 歳以上ではそのほとんどが単身世帯である。

それだけに、加齢に伴う様々な生活場面で生じてくる課題をある程度共同生活によって解決し、同時に、その生活を補完するために必要な地域社会とのつながりや人間関係を維持するために、健康状態に応じた就労による生きがいつくりをはかろうとする今回の取り組みは、単に、空き家のリノベーションによるシェアハウスを整備するだけでなく、地域社会の再構築に向けた取り組みでもある。

そのための起点を定めるための基礎調査として、今回のアンケート調査結果を位置づけることができるのである。

目次

アンケート調査レポート

[1]SDGs 経営への取組みアンケート 調査レポート

- ① 回答結果ダッシュボード…………… 1 ～ 2 4 P
- ② 資料
 - ・バブルチャートのトピック一覧…………… 2 5 ・ 2 6 P
 - ・アンケート質問一覧…………… 2 7 ・ 2 8 P
- ③ 総まとめ…………… 2 9 ～ 3 1 P

[2]菰野町シェアハウス「花鳥風月」から幸福を考えるアンケート

- ① 回答結果ダッシュボード…………… 3 3 ～ 4 1 P
- ② 資料
 - ・アンケート質問一覧…………… 4 2 ・ 4 3 P
- ③ 総まとめ…………… 4 4 ～ 4 8 P

時代背景で重要な要素となる SDGs
及び
菰野町シェアハウス「花鳥風月」に関するアンケート調査について

本アンケート調査は、SDG コンパスにある「アウトサイドイン・アプローチ法」に則り、「SDGs × 経営」がより浸透・定着することを願い、以下の2つのアンケート調査を実施しました。集計は、最新式のクアルトリクス社・AI エクスペリエンスサーベイを用いて、実施いたしましたので、見える化された図表が特長です。

本レポートは、実情を把握するため、加工せず集計に留めていますので、より現実的な景色をご覧ください。ただけるとお思います。

最後に、質問旨に至らない点など多々あったかと思いますが、本調査趣旨に免じてご容赦頂ければ幸いです。ありがとうございます。

令和5年12月吉日

イシズム株式会社
代表取締役 永石 俊夫

記

[調査実施]

実施1：SDGs アンケート

- ・社会課題が一層深刻さを増す時代背景に登場したSDGs。2030年までの折り返し点を過ぎた現在の町（市）民の意識を調査した。

実施2：菰野町シェアハウス「花鳥風月」アンケート

- ・当社が菰野町に開設したシェアハウス「花鳥風月」について、町（市）民の皆さまがどのように評価してくださっているのかを調査した。

[集計結果]

1. 集計結果

- ・実施1（SDGs アンケート）：回答者数 123 者
- ・実施2（シェアハウスアンケート）：回答者数 67 者

2. 集計レポートの構成

- ・各質問ごとに、【まとめ】、図表、回答 で構成

①実施1：集計数（123）……………1～24P

- ・バブルチャートの読み方……………25/26P
- ・アンケート質問一覧……………27/28P
- ・実施1のまとめ……………29～31P

②実施2：集計数（67）……………33～41P

- ・アンケート質問一覧……………42/43P
- ・実施2のまとめ……………44～47P

③総まとめ……………48P

以上

SDGs経営取り組みアンケート

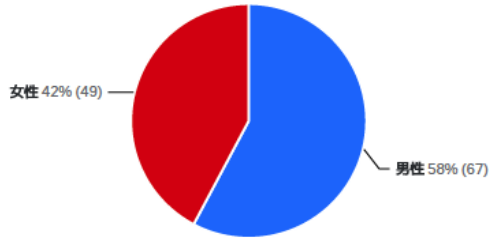
総回答数 ▾



SDGs経営取り組みアンケート詳細

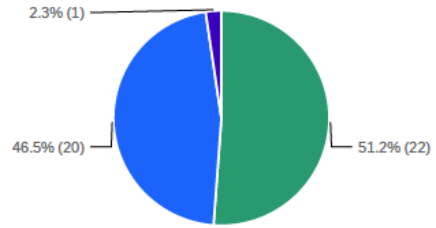
- 目的：SDGsの経営及び事業での取り組みの実態を把握する。SDGsに取り組む意識を促進する。
- 対象：男女・全年代
- 属性：会社員／自治体・NPOなどの支援者／市民として
- 回答数：123人
- 期間：9月28日（木）～10月23日（月）
- 集計：リアルタイムで集計・ダッシュボード化。
- 出力：報告レポートを提出。
- その他：希望者へ結果を共有。

性別（無回答7） 116 ▾



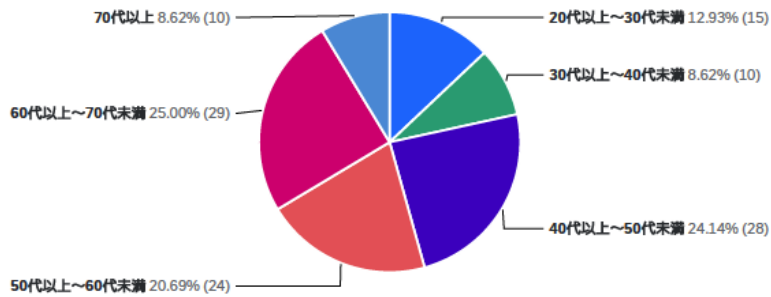
■ 男性 ■ 女性

回答者の属性（無回答80） 43 ▾



■ 企業の支援者（ファシリテーター・専門コンサルタント・士業）
■ 企業に所属している（会社員） ■ 市民として

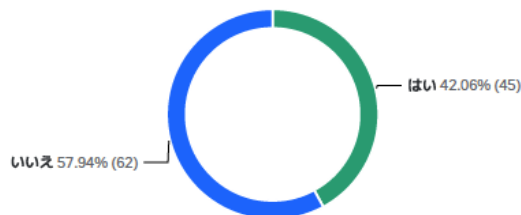
年代（無回答7） 116 ▾



全体概要

Q1.2023年「SDGs達成度ランキング」、日本の達成度が21位となったことを知っていますか。

Q1.2023年「SDGs達成度ランキング」、日本の達成度が21位となったことを知っていますか。—全体 107 ▾

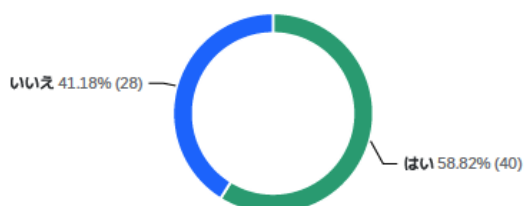


【男女比】

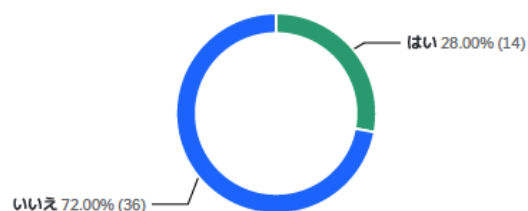
男性

女性

Q1.2023年「SDGs達成度ランキング」、日本の達成度が21位となったことを知っていますか。－男性 68



Q1.2023年「SDGs達成度ランキング」、日本の達成度が21位となったことを知っていますか。－女性 50



【属性比】

会社員

企業の支援者

市民

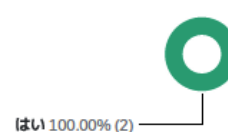
Q1.2023年「SDGs達成度ランキング」、日本の達成度が21位となったことを知っていますか。－会社員 26



Q1.2023年「SDGs達成度ランキング」、日本の達成度が21位となったことを知っていますか。－企業の支援者（ファシリテーター・専門コンサルタント・土業） 21

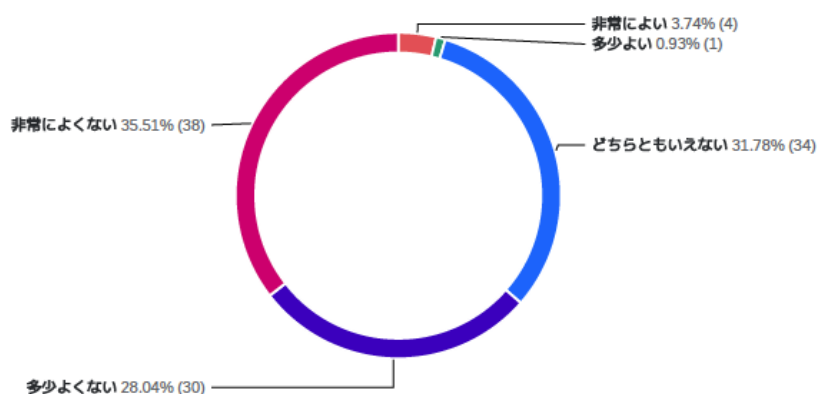


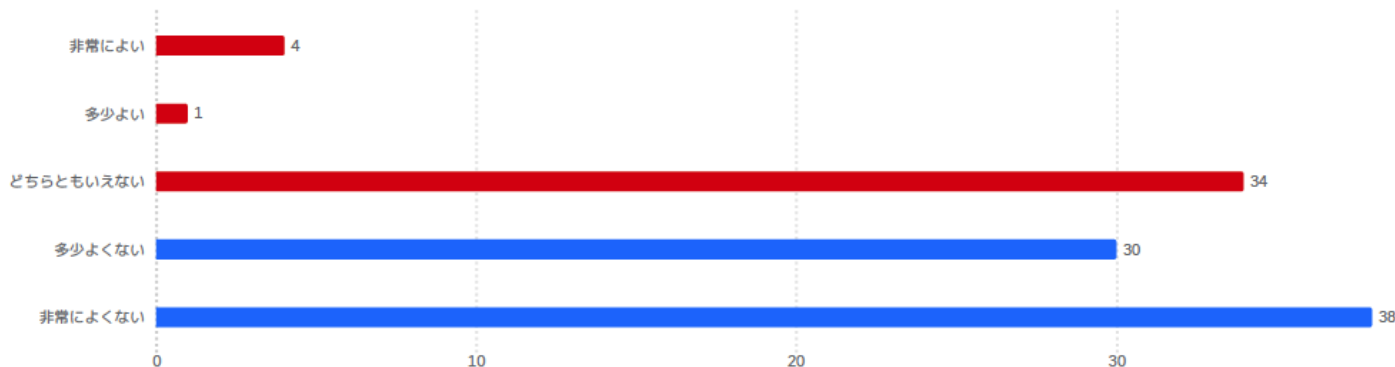
Q1.2023年「SDGs達成度ランキング」、日本の達成度が21位となったことを知っていますか。－市民として 2



Q1-2.日本のSDGs達成度ランキングは、今年初めて20位（21位）まで下がりました。この結果について、ご意見をお聞かせください。

Q1-2.日本のSDGs達成度ランキングは、今年初めて20位（21位）まで下がりました。この結果について、ご意見をお聞かせください。 107 ▾



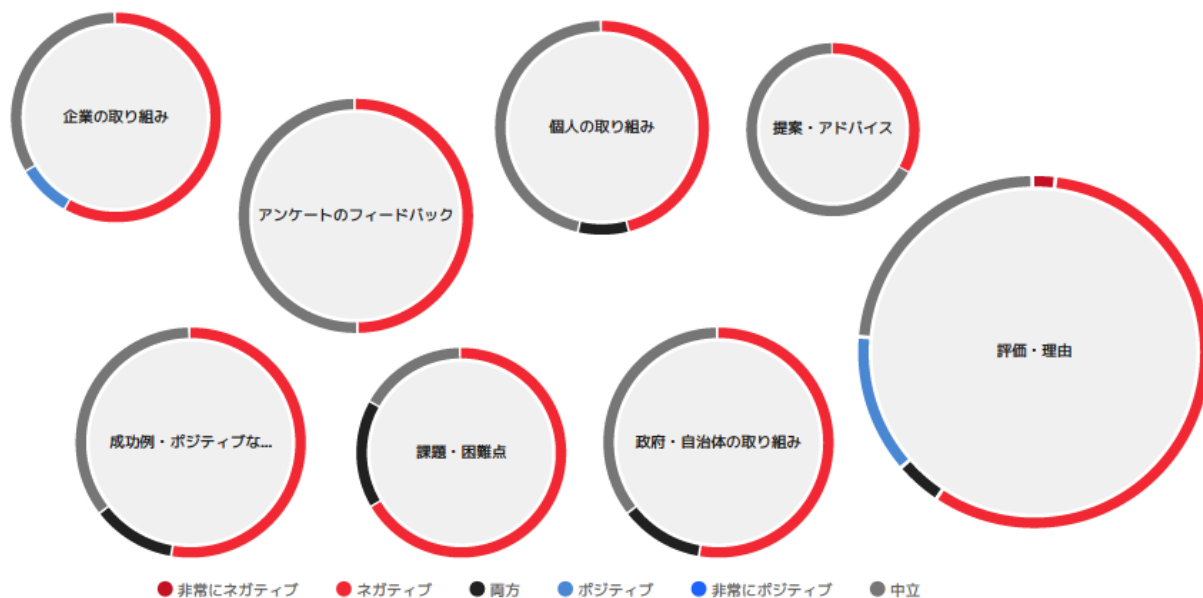


Q1-3.上記の評価の理由をお書きください。

【まとめ】

- SDGsへの意識と行動のギャップ: 多くの回答者が日本においてSDGsへの認知は高まっていると指摘しつつも、具体的な行動や成果につながっていないと感じています。認知度と実践のギャップが懸念されている。
- 日本の国際的評価の低下: SDGsの国際ランキングでの順位が下がっていることに対する懸念が多く見られます。日本が持つであろうリーダーシップと国際的な存在感を高める必要性が強調されています。
- 複数の要因による低評価: SDGsランキングの低下には、気候変動への対策遅れ、ジェンダー平等の達成への課題、持続可能な生産・消費への無関心、政治の不備など、複数の要因が影響しているとの指摘があります。
- 持続可能な取り組みの必要性: 一部の回答者はSDGsを取り組む必要性を認識し、特に環境やジェンダー平等の分野で積極的な行動を求めています。日本が将来において持続可能な取り組みを強化すべきだとの意見があります。
- 評価の不明確さと情報不足: SDGsランキングに対する評価基準の不明確さや、詳細情報の不足についての不満も見られます。より透明性と情報提供が求められています。

Q1-3.自由回答バブルチャート図 56



※自由記述回答の内容と感情のニュアンスをAIが読み取りバブルチャートで表しています。青はポジティブな感情を、赤はネガティブな感情を、黒はポジティブとネガティブ両方を含むもの、灰色は中立を示しており、AIが自動で判断しています。
 バブルの大きさは関心の大きさを示しています。関心が小さければバブルも小さくなります。関心の度合いは、AIが記述回答を分析（感情スコア分析とトピック分析）し、判定まで行います。
 トピックとは、自由記述回答の内容を概念毎に振り分けたものです。

【回答】 ㊄

順位も問題ですが、一部の人しかとりこんでいない、広まっていない、ブームにとどまっている気がします。

SDGsの取り組みの関心が薄れ始めているから

SDGsの取り組みが利益に直結していない。あくまでも企業体として成立している。ところがもっと力を入れるべきである。傾向としては、収益が成立していないところの会社が取り組む傾向にある。

SDGsにあまり関心が無い結果だと思い、関心を高めない限り環境問題諸々大変な事になる

あなた任せ主義は最悪です。技術の日本が旗降り役になるべきです。

SDGsの指標には色々問題あるかもしれませんが、ランクが下がるのは先進国としてどうなのかなど。

先進国である日本の取り組みを加速させ、世界に日本という国の存在感を持たせていった方が良いと思うからです。

私も含めて、個人でもSDGsを知って実際に行動に移さなければならない事を認識していかなければいけないと思う

ランクは上位の方がいい

順位だけでの評価であり、具体的な中身が見えていないので判断できない。

評価順位が下がるということは、他国より評価が悪いということになります。

環境政策、男女共同参画施策の結果が出ていないことに憂慮している。

平和である日本は、積極的にSDGsを推進すべきと思う

よく分からない。

自然の持続循環をすべきだから

もっと取り組むべきだと思います。

日本においてはSDGsの認知度は高いことが知られていますが、行動に結び付けられていない、あるいは本質の理解となっていないと考えられる結果だから。

特になし

一般的に見て表面上は問題がない社会のようだが、本当の意味でのフラットな社会からどんどん後退している気がします。一過性でなく経済力を伴った持続可能な取り組みが必要と思います。

個人的には、これまでの順位が高すぎるくらいだと思っていたので。後退したというよりは、実態に近づいたという印象です。

下がるのが駄目なことだと思う

SDGsにおいて、日本は、世界のリーダーになるべきだ！

相対的な順位ではなく、道のりに占める進行員合が非常に悪い。

グローバルアジェンダに取り残されている

各企業におけるSDGsに対する取組みが進んでいないことを反映している状況にあると思います。要因としては一時期のSDGs疲れが現れている可能性があると思います。最近ではメディアにおいてもSDGs関連広告等が減ってきていると感じています。やはり、長丁場であるがゆえに、意識やモチベーションをいかに継続させていくかという視点と切り口が重要になっている時期であると考えています。

下がっているから

まだまだ取り組んでいけると思う

ランキングを初めて見たから

指標に多少矛盾を感じているため。

行く末が恐ろしい

SDGsの認知は上がったが、まだアクションに繋がっていない証なのではと思います。

よくわからない

過去一番悪いから

まだまだ、自分がSDGsの事をそんなにわかっていないため

日本は世界的にみて率先して取り組まなければならない立場にいなから、後退であるから、意識されていないと思う。

今の評価に満足してはいけなから

日本において急速にSDGsについての関心が下がっていったのを感じます。それは個人で出来るようなことではなく、

もう少し皆さんで広めていきたい

他が上がったのか、日本が悪くなったのかの比較をしていないが、ランクが下がることが決してよいことではないため。

元々強みだったスコアが下がったの順位ダウン。後数年下がり続ける危険あり。

まだまだ、世の中をみていない

取組みは大切なことであると感じているが進めるのは容易ではないと思うので、順位が下がった要因やその打開策を考えることもこれからの日本のためになると思った。

サステナビリティの高い運動が広がっている一方でSDGsの本質が正しく発信、理解されていないことが課題だと感じます。

まだ上がる可能性が大いにある。

地球が疲弊する

グラフを見る時まだまだ下がる傾向にあり、将来的に不安がある

年々下がって来ているのが残念

達成度の基準が曖昧。

よく分からない

良い

もっと取り組むべきだと思った。

意識が薄いと思われます。

特になし

少しずつ下がってきているから

..

もっと重要となることが存在するため

特になし

廃棄する物が多いのではと思う

年を追って順位が下がる評価をされることは、何も進んでいないということ。少なくとも現時点では、持続可能な国になっていない。先進国中で最低であることを認識すべきと考えます。

日本は今だに平和ボケしてるんだと思います。

なんともいえない

地球に住むひとりの人間として、この星と人を守る義務があると思う。日本人としても同上

欧米の国々と比べてまだまだ遅れていると感じるため。

頑張っているが、足りない

アジア圏ではまだトップではあるが、いまだ取り組めることはあると思うから

例えば、省エネの技術や取り組みに関し日本は相当進んでおり、気にしている気運もあるのに、評価点数が低い。火力発電などが原因と思われるが、エネルギー安全保障や資源のない国柄、原発問題からして仕方のないことだと思うから。

アジア代表として。先進国としてリーダーシップを発揮する立場としては説得力が低くなってしまふ。

我が国のSDGs達成度ランキングが落ちた事実は残念です。他国の取り組みが進み、日本は取り組みが進んでいないため 相対的にランキングが低下したものと思われます。 ・ 気候変動対策の遅れ ・ 温室効果ガスの排出量対策の取り組みが遅れている ・ ジェンダー平等の遅れ（というか実質、本気で取り組んでいない） ・ 持続可能な生産・消費の遅れ（国民レベルで無関心） ・ 政治の怠慢（若者や次世代のことは考えない） など、SDGsというよりも、日本の利権システムが優先され またメディアも本来の役割りを果たしていないことで国民も それほど重要視していない現状が、この結果につながっていると 考えています。

もっと順位を上げたい

日本はもっとジェンダーに平等にあるべき

進捗を測る基準が不明確

欧州の基準で評価され、日本は利用されている

日本のSDGs認知度は年々高まってきているのに、2017年以降ジリ貧で下がってきている。

重要さが周知されていない気がするから

詳細、比較基準など、情報が私にないので、意見できない次第です。

G7構成国の日本が「持続可能な世界」の実現を積極的にリード、世界に貢献して、世界の人々から尊敬される国になって欲しいから

SDGsを意識する必要がないから

SDGsは行わなければならないと思うので

ナンセンス 無駄な取り組みだと感じている

言葉は以前より聞くようにはなっているが、具体的にSDGsの取り組みとして取り組んでいる企業や活動は目には見えていない気がする。

SDGsは、日本経済の成長の妨げになるから。米国39位で経済成長している。

毎年、順位が下がっているのは残念である

評価理由が不明なため

レッド評価はあるものの、前年度からの改善度評価で下降してるゴールは無いことから、他の国の達成度が上がっていると考えられる。ただ、日本の進捗が遅くなっていると想定されるため、ここは改善の余地があると考えます。

日本の危機意識が低い 経済競争力の低下

。

世界的には認識が広がって取り組みが進んでいると思われます。また、気候変動、人権の問題など解決しなければならない課題は山積みです。

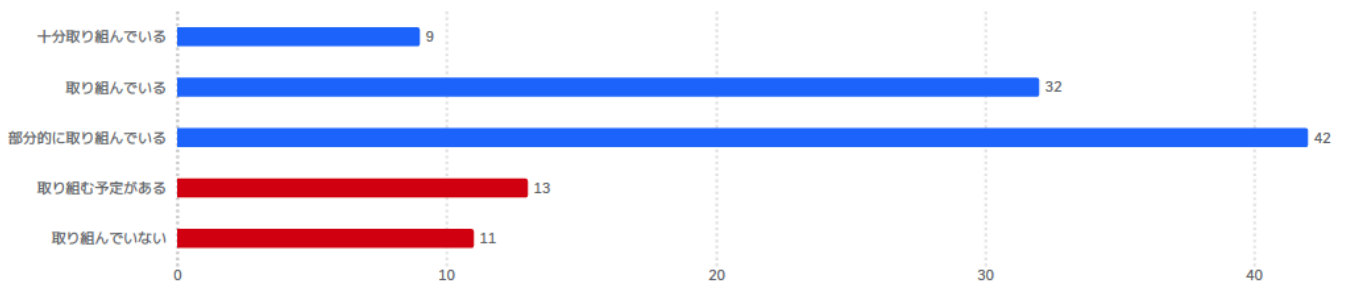
政府、民間企業もこれだけ「SDGs」を意識しているにもかかわらず、世界的順位が下がってきていることに、日本の未来に危機感を感じます。

中身が伴っていないのが残念

特になし。

Q1-4.あなたの所属先は、SDGsに取り組んでいますか。

Q1-4.あなたの所属先は、SDGsに取り組んでいますか。 107 7



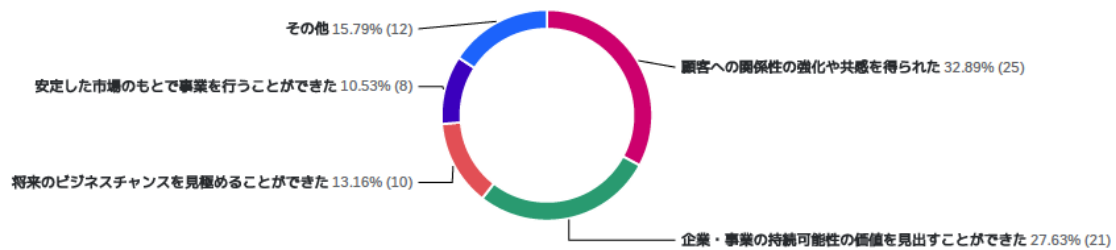
Q1-5.今現在、どんな成果を上げていますか。

【まとめ】

「将来のビジネスチャンスを見極めることができた」と回答したのは8人。「事業の持続可能性の価値を見出すことができた」と回答したのは21人。

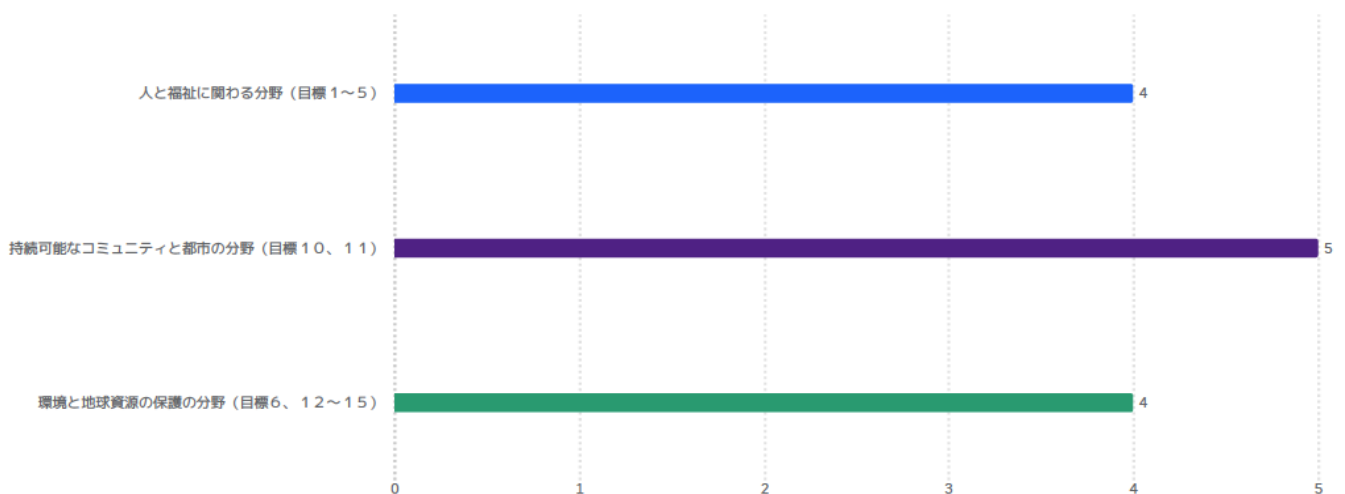
「顧客への関係性の強化や共感を得られた」と回答したのは24人。「安定した市場のもとで事業を行うことができた」と回答したのは8人であった。

Q1-5.今現在、どんな成果を上げていますか。 76 7



Q1-6.どんな分野で取り組もうとしていますか。

Q1-6.どんな分野で取り組もうとしていますか。 13 7



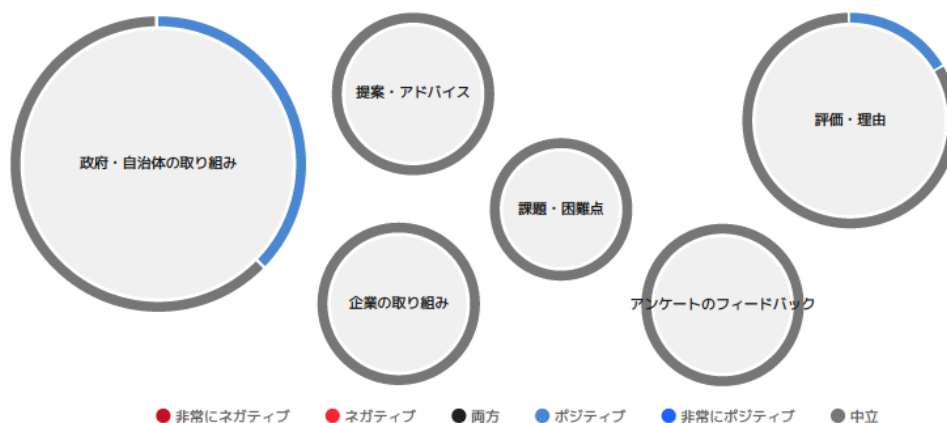
※質問への回答の選択肢は、5つでしたが、回答いただいたのは上記の3つでした。回答のなかった選択肢は下記、「持続可能な成長とインフラの分野（目標7～9）」「平和と正義の分野（目標16、17）」です。

Q1-7.企業のSDGs事業で、どんな関わりをしていますか。

【まとめ】

1. SDGs関連のコンサルティング：SDGs教育、ワークショップ、SDGs宣言書作成支援など多岐にわたる活動を行っています。
2. 経営サポート：顧問コンサルタントとして企業の経営サポートを提供しています。
3. 環境・脱炭素プロジェクト：地域で脱炭素推進プロジェクトに参加し、研修やワークショップを実施しています。
4. SDGsの導入とコンサルティング：SDGsに関する社員研修から、経営にSDGsを組み込む支援を行っています。
5. その他の活動：慈善事業、雇用促進、伝統文化の保護など、さまざまな社会貢献活動を行っています。

1-7.企業のSDGs事業で、どんなにかかわりをしていますか。 31 ▾



※自由記述回答の内容と感情のニュアンスをAIが読み取りバブルチャートで表しています。青はポジティブな感情を、赤はネガティブな感情を、黒はポジティブとネガティブ両方を含むもの、灰色は中立を示しており、AIが自動で判断しています。

バブルの大きさは関心の大きさを示しています。関心が小さければバブルも小さくなります。関心の度合いは、AIが記述回答を分析（感情スコア分析とトピック分析）し、判定まで行います。

トピックとは、自由記述回答の内容を概念毎に振り分けたものです。

行政との連携及び広義の上での民間との共同事業

日本人の得意語、もったいない!!を広げるべきです。

女性の積極的雇用、外国人採用、ビルの太陽光発電機設置。

していない

脱炭素推進プロダクトの運営

特になし

自治体の政策づくりにどうSDGsを生かしていくかを議論している

企業の組織開発において、SDGsの考え方を取り入れた共有ビジョン策定のお手伝い。

社会 経済

CO2削減である 無農薬、無肥料の自然栽培 エネルギー削減電気

食物ロス削減

わからない

世代を超えたすべての地域の人々が、取り残されることなく、尊重される社会を目指して活動しています。

SDGsに関する理解を深めるための社員研修から、具体的に経営にSDGsを取り入れる際のコンサルティングまでお手伝いしています。

顧問コンサルタントとして経営サポートを行っています。

障がい者の方の施設に募金している。

高齢者、障がい者の幸福度調査

あまりしていない

研修、ワークショップの定期や

貧困をなくそう

まだまだこれからの課題です。

支援

移動する営業活動の制限、自転車の活用、電力の自給自足、公共交通機関の活用、CO2削減、事業としての多文化共生支援など

企業では、意識してやっていない

SDGs研修講師

廃棄するものを活用している

プラスチック使用料削減のためのリユース活動の促進

身体障害のある子供をメインに支援。

雇用促進

あまり何もしていない

廃棄物の再利用

よく分からない

分からない

難病の子供たちに支援したり、子供たちの未来を考える取り組み、また 平等にと考えていると思われます。

..

慈善事業

していない

野菜、菌床などのりさいくるリサイクル 環境を守る

一部の企業には、「SDGs X ビジネス」を提供し考えていただいています。また地域ぐるみで脱炭素推進プロジェクトを動かすBOARDに参加しています。

難しい事は分かりませんが日本の伝統文化を守る活動してます。

わからない

自治体に所属し資源循環やCO2削減について担当部署にレクチャー

有言実行

SDGs・カーボンニュートラル導入推進コンサルをしています。具体的には①SDGs教育 ②ワークショップ ③カードゲーム ④関係機関への登録 ⑤SDGs宣言書作成支援 ⑥SDGsを取り込んだ経営方針策定や事業計画策定

・若者世代へのアプローチ（小学校～大学に訪問し、講演やワークショップ開催） ・産官学連携のサポート ・SDGs推進企業に対する支援（ワークショップや講演）

分からない

ターゲットの定義を見いだせた

節電など資源環境への取り組み

特に無し

SDGs啓蒙（消費者講座） 企業のSDGs宣言支援 行政、大学でのSDGs講演

地産地消

バス

SDGsを実施する意義の理解促進

ペーパーレス化

わからない

特にしていない

地域自治体と連携し地域活性

標榜しているが具体性はない。

企業の組織開発において、SDGsの考え方を取り入れた共有ビジョン策定のお手伝い。

質問の意図が不明

わからない

特にないです

社員に対する学習会でのファシリテーター担当。

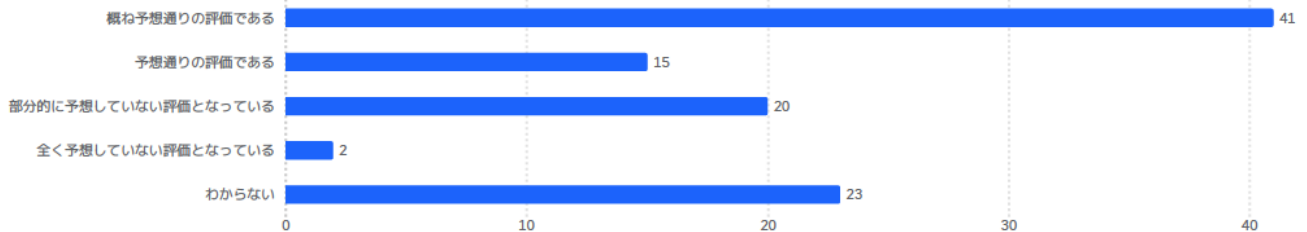
あまり良く理解していない。

研修

特になし。

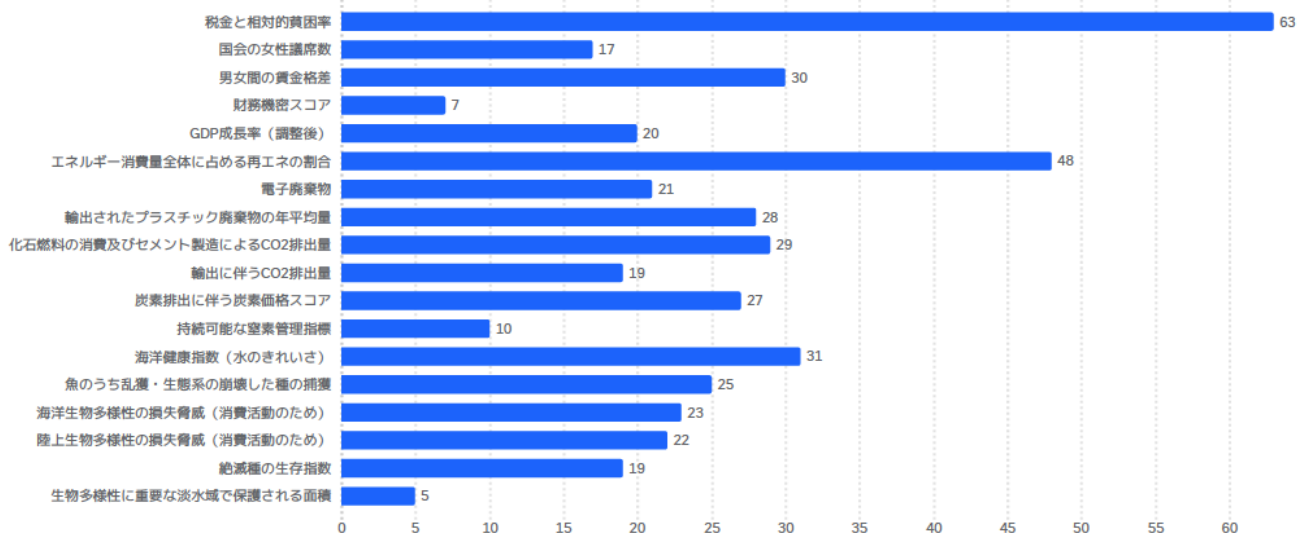
2-1.日本は「SDGs達成度ランキング」世界21位で、下記は日本のSDGs中の「深刻課題」です。表は「スコアが減少している」、「取り組みが悪い方向へ向かっている」という項目です。この結果についてあなたの考えを教えてください。

2-1.日本は「SDGs達成度ランキング」世界21位で、下記は日本のSDGs中の「深刻課題」です。深刻課題は「スコアが減少している」、「取り組みが悪い方向へ向かっている」という項目です。この結果についてあなたの考えを教えてください。 101 ▼



Q2-2.「深刻課題」で、詳しく知りたいと思う項目を5つ選んでください。（一市民の立場で、お答えください）

2-2.「深刻課題」で、詳しく知りたいと思う項目を5つ選んでください。（一市民の立場で、お答えください）（複数回答） 100 ▼

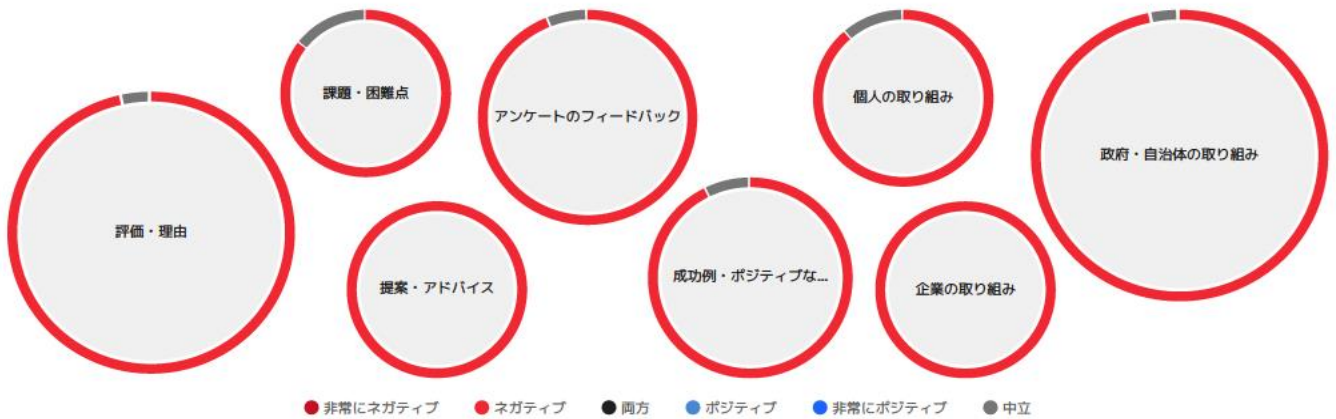


3.日本のSDGs達成度高めるには、どのような取り組みが必要と思いますか。ご自由にお書きください。

【まとめ】

1. 社会全体での協力と行動が必要で、政府、企業、市民が連携してSDGsに取り組むべきです。
2. 専門部署や担当者の設置と進捗管理が重要で、組織内でのSDGsの具体的な取り組みを推進すべきです。
3. 大企業は脱炭素への取り組みを強化し、省エネと再生可能エネルギーの比率を増加させる必要があります。
4. 教育と情報発信が必要で、SDGsの理解を深め、意識を高めるための取り組みが必要です。
5. 個人や中小企業も積極的に行動し、SDGsへの参加と協力を促進すべきです。

3.日本のSDGs達成度を高めるには、どのような取り組みが必要だと思いますか。ご自由にお書きください。 49



※自由記述回答の内容と感情のニュアンスをAIが読み取りバブルチャートで表しています。青はポジティブな感情を、赤はネガティブな感情を、黒はポジティブとネガティブ両方を含むもの、灰色は中立を示しており、AIが自動で判断しています。
バブルの大きさは関心の大きさを示しています。関心が小さければバブルも小さくなります。関心の度合いは、AIが記述回答を分析（感情スコア分析とトピック分析）し、判定まで行います。
トピックとは、自由記述回答の内容を概念毎に振り分けたものです。

【回答】 74

最重要取り組みを指標とすべき散漫になりすぎている。

テレビの放映。

国民の負担が目に見えて増える方向はほぼ無理かと思うので諸外国からモデルケースを抽出して真似るのが良いかと。

フードマイレージの低下（地産地消）を加速させることが、国力も高め、CO2排出量削減などにもつながると思います。

1人ひとりが意識して関わっていく

どの世代でも取り組みやすい内容のものをわかりやすく宣伝してほしい

生活者自身の意識と具体的に自分でできる行動を起こすこと。（ex.無駄な買い物はしない。）企業側でいうと利益追求・コスト削減のためだけに、安いだけの原材料調達をしない、大量にものを作りすぎない。可能な限り循環できる流れを意識したモノづくりをすること。競争だけでなく、共同できることは組むなど。

食料やエネルギーなど他国依存をできるだけ少なくする重要性がある。特にエネルギーの自国コントロールを可能にする再生可能エネルギーの拡大が急務。化石燃料によるCO2排出量やプラスチック製品製造など地球に負荷をかけ、生物にも危機を及ぼす可能性を最小限にする取り組みが必要です。

CO2削減に寄与する技術開発及びその投資が必要かと思っています。

1人1人の認識率を上げていくこと

まずは本アンケートにある現状（情報）の共有。そのための情報発信。その情報を発信することができる人材の開発。

分からない。

サステナビリティ重要性の拡大

食品ロスを減らす 等等

わからない

国の経済全体が豊かな状態にないと、各人が利己主義になり、他のことに関心がない国になってきているのを危惧します。

政治がしっかりと向き合うこと。そして、中小企業のサステナブルな取り組みにきちんと支援を行うこと。

民間ネットワークの構築

表面上ではなく、適正に取り組んでいる企業（経済活動の担い手）を評価しインセンティブを与える社会制度の構築。

事例の開発と共有

一般企業や役所において、SDGs 専門の部署やSDGs 専任担当者を設定する必要があると思います。兼務では難しいと考えます。専門部署や専門担当者が、それぞれのKPIにもとづいて進捗管理をしっかりと実施し、経営層へきちんと毎月報告し、経営層からの具体的アクションを社内各部署へ確認と展開を実施していくことが必要だと思います。

もっとTVやネットでSDGsのことを広める。人気YouTubeに動画で紹介してもらう。

今以上の発信や、国民全員の意識を高めること。各自治体でも取り組みを行う時間を持つといいと思います。

経営者への啓蒙活動、企業、中央省庁の取り組みが必須。

大企業の脱炭素の取り組み

再生エネルギーの利用拡大

まだ知識不足ですので、これを機に勉強して、意見の言えるようにしたいと思います。

なぜ達成度が低いのか、何とかしなければならぬのは何か、知るきっかけづくりを作っていくといいかと思います。

市民に寄り添う

労働基準法の改正、男性の育児休暇取得による企業からのパタニティハラスメント。女性が2人目を出産したいと思える環境作り。経済団体の意識改革、など。

みんなが意識すること

公益への関心を高める教育

情報の速やかな収集と透明度の高い公開

有害な排気などなくしていくべきで、農業などを使わない野菜を食べたい

SDGsの取り組み、と言ってもその言葉はあまりに大きく親近感を感じづらい。なのでその達成度が人間の生活においてどのような利益をもたらし、意義あるものなのかを一人一人が知ることが重要であると感じる。

SDGsの本質を伝える機会を増やす 官庁、政治家がSDGsの本質を理解し、企業、市民と課題解決へ協働する メディアからの正しい情報の発信 地域（町会）単位での取り組みの推進

特になし

脱炭素、エネルギー確保

クリーンエネルギーの開発が必須、原発に頼らないエネルギー開発を急速に行う必要がある 人の健康を守る、身近なら取り組みを実施して、啓蒙していくことが大切だと思う

地域、個人まで意識を浸透させ、取り組み結果を発信

SDGsを分かりやすく、具体的な手法に落とし込んで説明することが大切。また、経済合理性がある取り組みにすることが重要。

心の高度化

もっと危機感を高めるべきだと思う

..

個々の意識の改善

特になし

エネルギーの再エネへの取り組み

省エネと再生可能エネルギーの比率アップ

原点に戻るべきです。

なし

個人レベルまでの認識が必要

国民の意識改革

行政と企業と市民の融合した活動。各種数値の見える化。行政自体の行動結果の公表。

①政府による強力なリーダーシップ（本気度） ②企業による積極的な取り組み（スピード感） ③市民社会による主体的な参加（声を上げる）ですが...米国のコントロール下にある我が国の現状では 自主独立的な行動は困難であり 国民自体が、現在の気候変動による実害について実感しはじめる 段階にならないと対策は加速しないと考えます。

男女平等 海岸の掃除

学校での教育

1人1人が持続可能について意識する

ファクトベースでの一般生活者への現在の危機的状況の認知率向上 サプライチェーン上の中小企業でのESGの理解と行動促進 政府の再生可能エネルギー移行への本格的取組

全ての国民がまずは目の前の出来ることから始めることを、政府やメディアが強く広める事が最初の一步につながるのではと考えます

日々の暮らしを、原点に戻す努力 情報過多での比較による、地域色の欠如。

持続化のな世界を実現する政党設立/政策の変更

みんなの協力！ そもそもSDGs達成を目指している時点で、難しいのでは もっと深いところ、心や思いやりがあれば簡単に達成できるのでは？

無理することなく楽しみながら取り組めると行動につながるので、その様な方法があればいいと思います。

国による、プロパガンダによって 真実が捻じ曲げられていることを 認識し 心の目で真実を見極めなされば 何事も 本来の所業の意味をなさないと感じている。

エネルギー資源の産出 税金

達成度を高めても、日本経済に不利益であるといった意見を払拭する必要があると考えます。

まずは本アンケートにあるような現状としての正しい情報（事実）を、広く社会で共有すること。そのために情報発信を積極的にできる人材の開発。同時にその取り組みが継続できる社会環境の整備。

未来の脅威を本気で伝える

企業が従来型の利権に固執するのではなく、変化を恐れず本気でSDGsに取り組む事。

エネルギー政策、太陽光だけでなく、電力系統のありかたを検討する必要がある。

なし

SDGsの言葉だけが先行して、本質を理解していない人が多すぎる。啓蒙、教育をもっと強力に推進していくべき

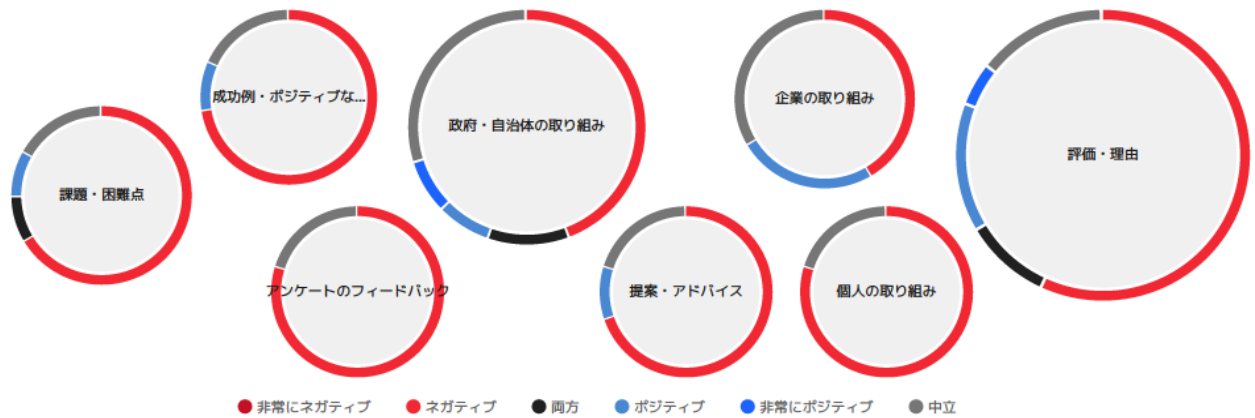
啓蒙のあり方の見直し

特になし。

4.SDGsに関してあなたの意見をご自由にお聞かせください。

【まとめ】

1. 企業への期待と積極的な取り組み：多くの回答者が、企業の積極的なSDGsへの取り組みを期待しており、持続可能な社会への貢献に興味を持っています。企業の努力が必要とされています。
2. 世界的な共通課題への関心：SDGsは世界的な課題であるという認識が共通しており、世の中に役立つ取り組みとして積極的に参加しようという意欲があります。
3. 持続可能性の重要性と危機感：回答者は、SDGsの達成は未来への責務であり、持続可能な社会を築くために協力すべきだと強調しています。また、地球環境への危機感もあります。
4. 情報不足と啓蒙の必要性：SDGsに関する情報が不足しており、啓蒙活動と教育の強化が求められています。正確な情報と共有が重要視されています。
5. 政府と経済団体の協力の必要性：政府と経済団体の協力が重要であり、SDGsに対する取り組みはリーダーシップと共有が重要です。



※自由記述回答の内容と感情のニュアンスをAIが読み取りバブルチャートで表しています。青はポジティブな感情を、赤はネガティブな感情を、黒はポジティブとネガティブ両方を含むもの、灰色は中立を示しており、AIが自動で判断しています。
 バブルの大きさは関心の大きさを示しています。関心が小さければバブルも小さくなります。関心の度合いは、AIが記述回答を分析（感情スコア分析とトピック分析）し、判定まで行います。
 トピックとは、自由記述回答の内容を概念毎に振り分けたものです。

【回答】 66 ▾

一般人（個人）出来る事をわかりやすく拡散して無意識レベルまで刷り込む事が大事だと思う。

罰則で行わない限り、善意での改善には限界がある、きっかけが必要であり、まずは民主主義制度撤廃見直すべきでは

日々の生活の中でコツコツと続けていけることを今後も続けていきます

美濃部都知事時代の政策で、初心忘るべからず！です。

SDGsという言葉はある程度浸透してる気がしますが、推進する必要性に対して理解がとぼしく、企業なども具体的にどうしているのかわからない、という状況に思うのでモデルケースの提示が必要かと。

持続可能な事業展開と、地球環境の両立をしていくことが人類の課題だと思います。

環境を護りたい

世界が統一して共通目標を持つことはとても大切なことだと思います。画期的な技術で世界が変わるのであれば、1社の利益にせず、世界共通の技術として提供するなど、個別の事業を拾い上げて共有することが必要だなと感じる。（技術者には対価をきちんと払うことも大事）

人として正しい取り組みと考えています。持続可能な世界を次世代に残すためには、残すべき環境を創造を今取り組まなければならない。

積極的に普及にだすさわっていく

上がる努力が必要だと思う。

一人一人が小さなことでも、食や環境問題に取り組むことが必要で、地球を守る意識を持ると良いと思います。

特になし

持続可能な取り組みとして範囲が広範囲に渡るが、各人が得意な分野に取り組むように心がけると、少しずつ社会が変わってきます。

SDGsに盛り込まれている内容は、人として地球人として当然のことばかりなので、それをあえて言葉として言わなくてはいけないことが残念。しかし、こういうわかりやすい掛け声があることは、非常に明快なメッセージだとも思います。

SDGsをもっと広めたい

引き続き取り組んでいきたいです。

日本の企業では、このような方針が一時的なものになりやすい風土があるように思います。中途半端になりやすい傾向があると思います。国も経営者も口先だけでなく、きちんと決めたことを取り組んでいくという強い意志が求められていると思います。それには小さな成功体験をたくさん作り、社員やスタッフに知らせていくことが大切です。自分たちの行動やアクションがSDGsに結びついている、少しずつ進展しているということが認識できればやりがいも生まれモチベーションアップにつながっているからです。

大切なことだけどまだまだSDGsのことを知らない、分からない人が多いと思うのでもっと情報を広めるべきだと思います。

個々に腹落ちしないと意識しない。

認知度が上がった反面、一回りした感があり、興味や関心が薄れているのではという危機感があります

再生エネルギーの利用価値の拡大

これからどんどんと取り組み、いろいろな面で考えていかなければならない課題と捉えています。

今年の夏の異常気象、誰もが体験したこのできごとの解消につながるアクションを発信したい。

特にない

このままいくと、日本はSDGsの各分野において世界からかなり遠く離れたところで周回遅れになると思います。政府、経済団体、NPOなど各分野での集結が不可欠だと思います。そうしないとかなり破滅的な結果になると思って危機感を持っています。

良いことだと思うから、継続してやっていきたい

国のSDGs未来都市への推進力が弱まっている気がしており、そこが気になる。

経済成長と環境や社会の改善の両立のチャンスなので、進めるべき

無駄作らず、新しい世代に環境よく育て欲しい

地球は大枠では自分の住む家そのもの。そう思うと環境改善や未来に向けた取り組みにも自分事として向き合いやすい。SDGsに対しても、どこまでがその枠組みなのか、新たにどのような影響が生まれていて、自分はどうすれば抑制に繋がるか、という情報と意識を日々更新していきたい。

身近なところから持続可能性を考えて行動している方もいればSDGsを単なるネタとして認識している方などいろんな捉え方をしている方を見てきました。SDGsの達成のためには一人ひとりの行動がカギになってきますが正しい情報の伝達がうまくいっていない感じがします。個人としての活動も大事ですが、発信力のある機関が「本気で」発信に動くことも期待しています。

SDGsの取り組みは素晴らしいと思う。

日本は先進国であるから最大限の貢献が必要である。

広く、一般の人が意識を高めて、なんらかの関わりを持たなければいけないと思う

個人と世界、その両輪でアプローチすることが大切だと考えています。

メディアに煽られている様にも感じている。一般の人には、上部の話で終わっていると思われる。

よし

もっと詳しく知りたいと思った

何をどのように意識して良いかわからないが、17の目標の中、できることを意識して持続して行けるように心がけます。

//

もっと様々な団体やメディアで重要性を再認識させるべき。

特になし

未来を考えること。特に次世代に残すべき自然環境や社会環境を構築することが私たちに課せられた義務であり責務と考えます。

なし

都内の取引先等の企業では、模索しながらでもSDGsに貢献しようとする企業が多かったが、地方(千葉県)の自治体に所属して、その認識率の低さには正直驚いている。

もう、手遅れと思う

「誰一人取り残さない世界」から「だれ一人欠かすことのできない世界へ」。SDGsは地域や世代を超えた共通言語としてとても有効であることの啓発をしています。

米国市民団体（SPI）調査レポートによると現在の進捗では、SDGsに関していえば、2082年に達成がずれ込み、今後Covid-19の影響により、2092年達成見込みとのリスクが予測されています。そんな中でも、真剣に取り組もうとしている企業も、団体も沢山ありますし実際に様々な活動をしている市民も沢山存在しています。私個人は、決して悲観的ではありませんし、絶望視もしていませんがただ米国や中国などの大国が現状のままであることが残念です。またSDGsを政治的に利用する動きや、利権のみで考える企業も多く本当の意味での危機感が必要だと感じています。ただ...そのタイミングで危機感を感じていては、手遅れになるかもしれません。英科学誌ネイチャーの記事によると、世界でこのまま温室効果ガスの排出が続けば、大西洋の海水が表層で北上し、深層で南下する南北循環（AMOC）は今世紀半ば、早ければ2025年にも停止する恐れがあるとの研究結果が報告されました。海洋酸性度は産業革命後、26%上昇し、今世紀末までに世界の海全体の生物は20%減少するでしょう。そんな未来を子供たちが生きることのないように、諦めずにできることをいまは取り組んでいくしかないと思っています。市民の覚醒と連携が広がることを信じています。

SDGsにとりくむための資金が不足していると思う。

2030年ゴールの半分来たところだが他人事の印象です。

SDGsの本質的な目的（将来世代への持続可能な社会構築のための現代のライフスタイル変容）が一般市民には正しく伝わっていない。これは、政府の経済活動優先施策や、メディアの伝え方に大いに関係していると思う。また、市民もジブンゴトとして認知している人が少なく、日本での市民運動などの機運が盛り上がりがないのもSDGsが進展しない理由だと思う。

個人的には地産地消が身近で、生活に直結しているのではと考えます。

今更、新しい言葉のように難しく考えるのではなく、一人一人が自分の24時間を見直すことが大切。大きく概略で考えても、一人一人には、関係ないように感じてしまう。

子どもたちに美しい地球を残していく、我々のQOLを高めていくために必要不可欠な達成目標

SDGsは世界基準であって、ここがもっと高い基準を持っている。そこを思い出す活動、行動が大切だと思います

もっとできる事はないか考え実行する。

全くもってナンセンスだと思っている。

分野が広いので、各分野に関わる企業全体の取り組みとして国がもっと発信し主導するべき

日本国の国益になるとは、理解していない。

もっと大々的にやるべき

失敗したときのリスクが企業が本気で取り組み足かせになっている。実績のある対策にしか手を出せない。

もっと真剣に考えるべきだと思います。

SDGsの取り組みは、特別なことではなく、普段やっていることの目線をあげたり、視野を広げたりすることだというふうに、企業に寄り添っていければ実行が具体的に深まっていくのではないかと思います。

推進すべき推進すべき

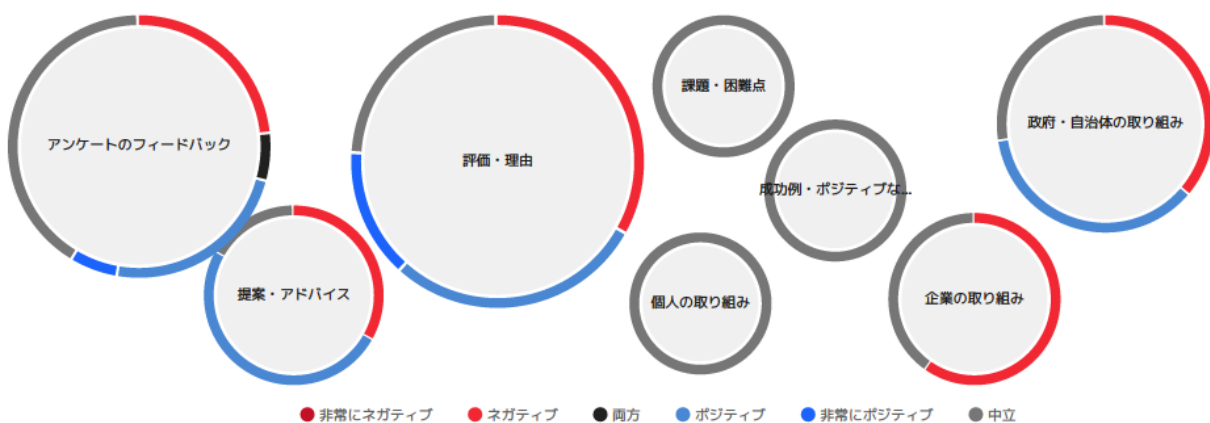
特になし。

5.このアンケートについてのご意見・ご感想をご自由にお書きください。

【まとめ】

1. アンケートへの興味と有用性への期待 このアンケートがどのように役立てられるのか興味を持ちました。大変タイムリーで良いアンケートであると思います。
2. 情報の不明瞭さとジェンダーに関する提案 目的が不明瞭に思いました。「男女当てはまらない」ではなく、「男女無回答」とすべきジェンダーのことが全く分かっていない 不愉快。
3. アンケートの構造と課題への提案5分では終わりません。一般的な市民の方にはハードルの高い質問が多いので、途中でやめてしまう方も相当いるのではないのでしょうか。いつの目的、目標としては国も絡めて、補助金等が出るのでいいと思います。ただその補助金が有効に使われて欲しいです。
4. アンケートへの感謝と情報の共有への期待 SDGsに対して考え直す、振り返るきっかけになりました。感謝！結果の情報共有をお願いいたします。
5. SDGsの啓発と継続的な取り組みへの提案 このアンケート結果を分析して広報することで、啓発や行動を促して欲しいと考えています。"このアンケートで終わるのではなく、継続して発信してください。

5.このアンケートについてのご意見・ご感想をご自由にお書きください。 38



※自由記述回答の内容と感情のニュアンスをAIが読み取りバブルチャートで表しています。青はポジティブな感情を、赤はネガティブな感情を、黒はポジティブとネガティブ両方を含むもの、灰色は中立を示しており、AIが自動で判断しています。
バブルの大きさは関心の大きさを示しています。関心が小さければバブルも小さくなります。関心の度合いは、AIが記述回答を分析（感情スコア分析とトピック分析）し、判定まで行います。

【回答】 64 ▼

ありません

日本人の国際貢献化へ意識的に努力させる切り口です。

改めてSDGsを考える契機になった。

アンケート調査ありがとうございます。

勉強になった

なし

特になし。

このアンケート結果を分析して広報することで、啓発や行動を促して欲しいと考えています。ファシリテーターとしてお役に立てることがあれば、何なりとお申し付けください。

結果の情報共有をお願いいたします。

いいと思う。

意識がある人でないと答えられない項目が多いと思いました。

特になし

日本の今の現状を改めて気付かせていただきました。日々常に頭の中に置いて活動していきたいと思います。

5分では終わりません。一般的な市民の方にはハードルの高い質問が多いので、途中でやめてしまう方も相当いるのではないのでしょうか。

「男 女 当てはまらない」ではなく、「男 女 無回答」とすべき ジェンダーのことが全く分かっていない 不愉快

回答遅くなり申し訳ございません。

このアンケートがどのように役立てられるのが興味を持ちました。

大変タイムリーで良いアンケートであると思います。2030年まであと6年の中で、現状を振り返って軌道修正すべきことはしていくという姿勢がアンケートによって見えてくるからです。

目的が不明瞭に思いました。

私自身（個人事業主）なので、対象者ではないのでは？と思いつつ回答しました

わかりやすかった

選択形式で、たいへん回答しやすく、この機会に、SDGsに関心を持つ事でも大変良い事だと思います。

このアンケートで終わるのではなく、継続して発信してください。

特になし

ありがとうございましたm(_ _)m

このアンケートは記入が多すぎる!

ありがとうございました。

SDレポートの直訳は分かりにくい時があるので、和訳された言葉がないか確認しながら書いていただけると、もっと良かったです。

考えさせられることばかりであった 再利用、誰もが安定した生活ができる環境が必要であるとおもいました

SDGsを考えるきっかけになった。

このアンケートの集計は好評されますか？

もっと分かりやすくしてほしい

良い試みである。

改めて、日本の現状を知り、何かの取り組みに参加したいと思いました。

自分の仕事がSDGsの17の目標と169のターゲットのどの部分に関わっているのが関心がわいた。

面白い調査である。どう活かすかが重要である。

もっと回数を多く実施してほしい

SDGsの取組みをどのように実施しているのを知りたい また、項目が多いのでできることを心がけていこうと思いました

//

教育の場面や企業での取り組み強化を望みます。

特になし

自分と向き合う良い機会であったと思います。

なし

集計結果を知りたいです

頑張ってください

ご連絡ありがとうございました。ますますのご発展をお祈りします。

ありがとうございました。

わかりやふい

突発的でアンケート趣旨がよくわかりません。

分かりやすいアンケートだった。このアンケート結果をSDGs推進に役立つ活動につながると思う。

知らない事も知れ参考になりました。

あまり意味が感じられない

SDGsに対して考え直す、振り返るきっかけになりました。感謝！

いつの目的、目標としては国も絡めて、補助金等が出るのでいいと思います。ただその補助金が有効に使われて欲しいです。SDGsを謳って、やりたい放題やるかたたちいるので

非常に いいと思います

特になし

このアンケートが、届くべき所へ届くといいのですが。

アンケート結果とこの結果から何が見えたか共有してもらえたら嬉しいです

わかりやすいアンケートですので、答えやすいと思います。

個人の意見です。

なし

難しかったです

理解できた。

特になし。

以上。

【資料】

バブルチャートのトピック一覧

<バブルチャートの読み方>

アンケート中のテキスト回答について、クアルトリクス AI による「トピック分析」を使用した。

トピック分析は、回答いただいたテキストの中の単語を拾うことで、趣旨を読み取る分析法である。

本アンケートでは、テキスト回答を 8 つのトピックに分類し、各トピックの観点を 5 つ策定したのちに、どの単語を拾うかを決定した。

[トピック 1] 評価・理由

・ 観点

1. SDGs の達成度の評価や要因、要素。
 2. 回答者の意見や評価と感情と感覚を表現するもの。
 3. 実際の取り組みや活動に関連するもの。
 4. SDGs 達成の過程の問題点や課題、障壁を示すもの。
 5. 取り組みの状態や結果に関するもの。
- ・ 単語例：取り組み、悪い、評価、理由、達成、原因 など。

[トピック 2] 企業の取り組み

・ 観点

1. SDGs における企業の活動や戦略との連携を示すもの。
 2. 企業が環境やサステナビリティに対して取り組むもの。
 3. 企業の価値観や社会に対する責任を示すもの。
 4. 企業が SDGs に対する取り組みの成果や、どう評価されているかを示すもの。
 5. 企業の取り組みが外部のステークホルダー等とどう関係しているかを示すもの。
- ・ 単語例：戦略、環境、責任、プロジェクト、サステナビリティ など。

[トピック 3] 政府・自治体の取り組み

・ 観点

1. 現場の課題や問題点の特定を示すもの。
 2. 改善や解決を求める内容を示すもの。
 3. 障壁やハードルとなっている内容を示すもの。
 4. 課題に関連する感情やストレス、感覚を示すもの。
 5. 課題の原因や背景を考慮した内容を示すもの。
- ・ 単語例：課題、困難、障壁、ハードル、問題 など。

[トピック 4] 個人の取り組み

・ 観点

1. 個人や国民の行動や取り組みの内容を示すもの。

2. 環境意識やSDGsに関連する活動、行動の内容を示すもの。
3. 人々の関与や参加する場面、形に関する内容を示すもの。
4. 教育や情報発信の側面に関連する内容を示すもの。
5. 継続的な取り組みやコミュニティ形成に関する内容を示すもの。

・ 単語例：成功、実績、進捗、実践、価値、インパクト など。

[トピック5] 提案・アドバイス

・ 観点

1. 具体的な提案やアドバイスの内容を示すもの。
 2. ソリューションや改善策に関連する手法や方法を示すもの。
 3. 提案やアドバイスの背景や理由について示すもの。
 4. 考慮すべきポイントや重視すべき要素を示すもの。
 5. アドバイスの受け手に対する期待や要求を示すもの。
- ・ 単語例：提案、アドバイス、解決、改善、方針、ソリューション など。

[トピック6] アンケートのフィードバック

・ 観点

1. アンケートの受けてからの具体的な反応や評価を示すもの。
 2. アンケートの内容や質問項目に関する要望や疑問を示すもの。
 3. アンケート結果の解釈や分析に関する意見や提案を示すもの。
 4. 反応や評価の背景や理由に関する意見や感想を示すもの。
 5. アンケートの改善や改良に関する要望や提案を示すもの。
- ・ 単語例：フィードバック、意見、コメント、疑問、意向、提案 など。

[トピック7] 課題・困難点

・ 観点

1. 現場の課題や問題点の特定の内容を示すもの。
 2. 改善や解決を求める内容を示すもの。
 3. 障壁やハードルとしての側面に関する内容を示すもの。
 4. 課題に関連する感情やストレスを示すもの。
 5. 課題の原因や背景を考慮する視点に関する内容を示すもの。
- ・ 単語例：課題、困難、障壁、指摘、限界、乏しい など。

[トピック8] 成功例・ポジティブな取り組み

・ 観点

1. 成功やポジティブな結果、またその要因となる内容を示すもの。
 2. 具体的な成功例やそのケースを示すもの。
 3. 評価や評判をもとにした意見を示すもの。
 4. 期待を上回る成果や効果の体験を示すもの。
 5. ポジティブな取り組みの具体的な手法や方法を示すもの。
- ・ 単語例：成功、実績、進捗、実践、価値、インパクト など。

【アンケート質問一覧】

＜プロフィール質問＞

- ・あなたの性別を教えてください。
男性・女性・上記に当てはまらない
- ・あなたの年代を教えてください。
70代以上
60代以上～70代未満
50代以上～60代未満
40代以上～50代未満
30代以上～40代未満
20代以上～30代未満
10代以上～20代未満
10代未満
- ・あなたの属性を教えてください。
企業に所属している(会社員)／企業の支援者(ファシリテーター・専門コンサルタント・士業)／市民
- ・回答の特典(総合レポートの受け取り・体験ワークショップの無料招待)を受け取りになるメールアドレスをご記入ください。

＜あなたのSDGsに対するご意見をお聞かせください＞

1-1. 2023年「SDGs達成度ランキング」(SDSN)が発表され、日本の達成度は世界21位でした。

この結果を知っていますか。

(SDSN=国連持続可能な開発ソリューションネットワーク)

1-2. 日本のSDGs達成度ランキングは、今年初めて20位台(21位)まで下がりました。

この結果について、ご意見をお聞かせください。(自由記述回答)

1-3. 上記の評価の理由をお聞かせください。(自由記述回答)

1-4. あなたの所属先は、SDGsに取り組んでいますか。

- ・十分取り組んでいる
- ・取り組んでいる
- ・部分的に取り組んでいる
- ・取り組む予定がある
- ・取り組んでいない

1-5. 今現在、どんな成果を上げていますか。

- ・将来のビジネスチャンスを見極める事ができた
- ・企業・事業の持続可能性の価値を見出すことができた
- ・顧客への関係性の強化や共感を得られた
- ・安定した市場のもとで事業を行う事ができた
- ・その他(自由回答)

1-6. どんな分野で取り組もうとしていますか。

- ・人と福祉に関わる分野(目標1～5)

- ・持続可能な成長とインフラの分野（目標 7～9）
- ・環境と地球資源の保護の分野（目標 6、12～15）
- ・持続可能なコミュニティと都市の分野（目標 10、11）
- ・平和と正義の分野（目標 16、17）

1-7. 企業の SDGs 事業で、どんなかわりをしていますか。（自由記述回答）

2-1. 日本は「SDGs 達成度ランキング」世界 21 位で、下記は日本の SDGs 中の「深刻課題」です。

表は「スコアが減少している」、「取り組みが悪い方向へ向かっている」という項目です。

この結果についてあなたの考えを教えてください。

- ・予想通りの評価である
- ・概ね予想通りの評価である
- ・部分的に予想していない評価となっている
- ・全く予想していない評価となっている
- ・わからない

2-2. 「深刻課題」で、詳しく知りたいと思う項目を 5 つ選んでください。

（一市民の立場で、お答えください）（複数回答可）

- ・税金と相対的貧困
- ・国会の女性議席数
- ・男女間の賃金格差
- ・財務機密スコア
- ・GDP 成長率（調整後）
- ・エネルギー消費量全体に占める再エネの割合
- ・電子廃棄物
- ・輸出されたプラスチック廃棄物の年平均量
- ・化石燃料の消費及びセメント製造による CO2 排出量
- ・石油に伴う CO2 排出量
- ・炭素排出に伴う炭素価格スコア
- ・持続可能な窒素管理指標
- ・海洋健康指数（水のきれいさ）
- ・魚のうち乱獲・生態系の崩壊した種の捕獲
- ・海洋生物多様性の損失脅威（消費活動のため）
- ・陸上生物多様性の損失脅威（消費活動のため）
- ・絶滅種の生存指数
- ・生物多様性に重要な淡水域で保護される面積

3. 日本の SDGs 達成度を高めるには、どのような取り組みが必要と思いますか。

ご自由にお書きください。（自由記述回答）

4. SDGs に関してあなたの意見をご自由にお書きください。

（自由記述回答）

5. このアンケートについてのご意見・ご感想をご自由にお書きください。

実施1のまとめ

1. 調査実施の意図

調査実施の目的は下記の2点でした。

・1点目は、2023年6月21日、国連と連携する国際的な研究組織「持続可能な開発ソリューション・ネットワーク」が国別のSDGs達成状況などをまとめた「持続可能な開発レポート2023」報告書を発表した。

データのある166カ国を比べた達成度ランキングで、日本は昨年の19位からさらに後退し、21位となった。このことについて、「どのように感じているか」知りたい。

・2点目は、この報告書では、各国の取り組みの進み具合を、17の目標ごとに「達成済み」「課題が残る」「重要な課題がある」「深刻な課題がある」の4段階で評価しているが、この「深刻な課題がある」を社会課題と捉え、企業が取り組むべき意義があると言えるが、どんなテーマが関心を持たれているか知りたい。

との意図のもと、実施しました。

2. 集計結果

- ・総回答数：123
- ・うちアウトサイドイン公認ファシリテーター回答数：56

3. 集計レポートの構成

- ・各質問ごとに、【まとめ】、図表、【回答】で展開。
- ・1～24P・・・総回答集計（123）
- ・25/26P・・・バブルチャートの読み方
- ・27/28P・・・アンケート質問一覧
- ・【まとめ】は各設問ごとに記載しています。

4. 集計レポートから見えること

（「全体」と「企業の支援者」のギャップがある項目をピックアップした。）

1) Q1. 2023年「SDGs達成度ランキング」、日本の達成度が21位になったことを知っていますかについての回答

「全体」は、「はい」が45人で42.6%。「いいえ」が62人で57.94%。

「企業の支援者」は、「はい」が16人で「いいえ」が3人である。

2) Q1-2 日本のSDGs達成度ランキングは、今年初めて21位まで下がりました。この結果についてご意見をお聞かせください。についての回答

「全体」は、「非常によくない」38人35.51%、「どちらともいえない」34人31.78%、「多少よくない」30人28.04%の順。

「企業の支援者」は、「非常によくない」12人、「多少よくない」5人の順。

監修者付言 「企業の支援者」の属性は、「ファシリテーター・専門コンサルタント・士業」であるから、21位になったことを知っており、それは、「よくない」とするものが多数を占めるのは当然ともいえる。会社員も、ほぼ同様の結果を示しているが、性別で見ると、女性の「知らない」とする比率が72%と高くなっている。自由回答では、「環境政策、男女共同参画施策の結果が出ていない」との指摘もあり、書生に対する「自分ごと」化が、課題として浮き彫りになっている。また、順位については、「行動に移すことが必要」といった自由意見がみられ、「SDGs 疲れ」、「関心が薄れている」、「SDGs の取り組みが利益に直結していない」といった指摘も見られる。特に、後者については、このところ ESG 投資と企業の社会的責任、株主利益とのバランスについて議論が提起されていることから、地域課題を解決し利益を生み出そうとする企業にとっては、株主に対して、明確な利益回収の計画を示しつつ、地域に向けて SDGs に対する啓発を進めていくことが大切であるということができよう。

それだけに、Q1-4 において「あなたの所属先は、SDGs に取り組んでいますか」との問いに対して、「十分取り組んでいる」と答えたのは、回答者 107 名中 9 名に過ぎず、「部分的に取り組んでいる」が 42 名と圧倒的に多いところに、日本企業の課題が見えているような気がする。社内に SDGs の担当者や課を作ったとたんその係や課の仕事だけが SDGs に関することとなり、担当課や係が熱心に仕事に励めば励むほど、他部署の関心は薄れるとはよく聞くところである。地域における企業の社会的責任を果たすための指針が SDGs であるとするれば、担当課や係は、社内啓発と同時に、経営計画への SDGs の目標の落とし込み・ローカルアジェンダの設定こそが必要であろう。

3) Q2-2 「深刻課題」で詳しく知りたい項目を 5 つ選んでください。

「全体」の上位 5 項目は、「税金と相対的貧困率」、「エネルギー消費量全体に占める再エネの割合」、「海洋健康指数（水のきれいさ）」、「男女間の賃金格差」、「化石燃料の消費及びセメント製造による CO2 排出量」の順。

「企業の支援者」の上位 5 項目は、「エネルギー消費量全体に占める再エネの割合」、「炭素排出の伴う炭素価格スコア」、「税金と相対的貧困率」、「化石燃料の消費及びセメント製造による CO2 排出量」、「男女間賃金格差」の順。

監修者付言 上位 5 項目は上述の通りだが、全体的には各項目に回答が分散し、しかも各項目とも比較的獲得票数が多いことが特徴的である。それだけ課題が多いと認識されてもいるということであろう。そのなかで、63 人が選択した「税金と相対的貧困率」については、50%近くまで上昇したとされる、税金・社会保険料等の国民負担率が問題だと捉えているのか、それとも、このところの雇用環境の悪化により拡大する格差社会を受けての「相対的貧困率」の上昇を課題と捉えているのか、いささか判然としないが、どちらにせよ、国・地方自治体等行政による税金の使い方、あるいは、国会・地方議会による使われ方の決定過程について、住民として関心を持ち、積極的に発言し、投票行動で示す、主権者としての自覚が必要であろう。

5. 「自由回答」に対するご意見について

- ・ Q3 「日本の SDGs 達成度を高めるには、どのような取り組みが必要と思いますか」、
- Q4 「SDGs に関してあなたの意見をご自由にお聞かせください」に対して、
- 【まとめ】に記載した通り、建設的で具体的なご意見が多数寄せられた。
- ・ 各設問ごとの【回答＝記述式回答】には、寄せられたご意見を記載した。

回答者の生の声で、心のひだが伝わるご意見の数々で、1行1行目を通して頂きたいと思います。

6. このアンケートについての意見・感想について

- ・Q5「このアンケートについてのご意見・ご感想をご自由にお書きください」について
「アンケートへの興味と有用性への期待」、「情報の共有への期待」と、「情報の不明瞭さと目的が不明瞭」等の意見が寄せられた。
- ・【回答】の寄せられた声そのまま記載した。回答者の生の声で、心のひだが伝わるご意見の数々で、1行1行目を通して頂きたいと思います。

7. 本アンケートの集計を終えて

- ・実施目的は、『後退を続ける日本の「SDGs 達成度ランキング」についてどう思っているか』、『日本の深刻な課題について関心が持たれているか』どうかを知りたいということでした。
- ・『SDGs 達成度ランキング』について知っているかについて、「全体」では「いいえ」57.94%/62人、「はい」が42.06%45人であった。「企業の支援者」では、「はい」16人、「いいえ」3人であった。
- ・『日本の深刻な課題について関心が持たれているか』については、「全体」、「企業の支援者」ともに同様の項目に関心が向けられていた。
- ・実施目的2点ともに、概ね関心が向けられており、「自分ごと」として回答されていることが伺えた。
- ・本アンケートは、「自由回答」の設問が多いことから、お叱りの回答が多いのではないかと危惧しましたが、概ね好意的な意見が寄せられました。
- ・【回答】欄の声々からは、自分ごととして捉えられていることが伺えました。
- ・Q5の今回のアンケート実施そのものに対する【回答】では、今後の活動の励みになる声々や期待をたくさん寄せて頂きました。
- ・「改めてSDGsを考えるきっかけとなった」、「大変タイムリーでよいアンケートであると思います」、「もっと回数を多く実施してほしい」、「日本の今の状況を改めて気づかせて頂きました」等との意見を頂きました。

一方、「このアンケートは記入が多すぎる」との意見も寄せられました。

- ・今回のアンケート調査実施には、123名の皆さまにご意見を寄せて頂きました。

皆さま、丁寧に回答頂き、最後にはエールをたくさん頂戴しました。

自由回答からは回答者おひとりお一人の思いが、伝わってまいりました。今後も皆さまの声をお聞きしたい時にタイムリーに実施していきたいと考えております。皆さまからの声々が増幅されていくことが、SDGs目標達成につながることを信じて、行動していきます。

同様に、回答いただいた皆さまにもこの集計レポートの声々を日々の活動に活かして頂ければと思います。

監修者付言 上記総括にも示されているが、SDGsを自分事とする必要性を多くの回答者が指摘している。これは、地域密着を標榜する企業にとっては、チャンスである。SDGsの各目標を企業活動の指針としてブレイクダウンして取り組むことが、人口が減り高齢化が進む地域であっても、今後、適正規模にダウンサイジングしたうえで、持続可能性を追求することが必要である。その際、どこまで、これまでの人と人との付き合いというインフラを、ポストコロナ社会で再構築できるかがカギとなる。「誰一人取り残さない」は、人類普遍の追求すべきテーマなのである。

SDGsとシェアハウスに関するアンケート

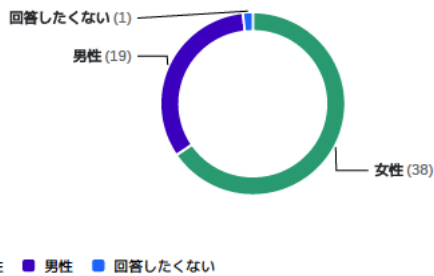
総回答数 67



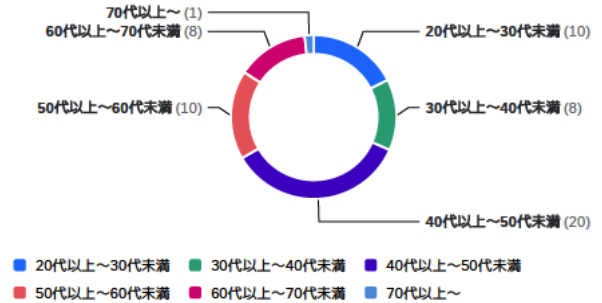
SDGsとシェアハウスに関するアンケート

- 目的：「住宅確保要配慮者」と「空き家問題」をマッチングした社会課題解決型シェアハウスへのアンケート調査
- 対象：男女・全年代
- 属性：企業に所属している（会社員）／自治体・NPOなどの支援者／市民
- 回答数：67件
- 期間：2023年10月17日（火）～10月24日（火）（24日24時必着）
- 集計：リアルタイムで集計・ダッシュボード化
- 出力：報告レポートを提出
- その他：PDFにて結果報告

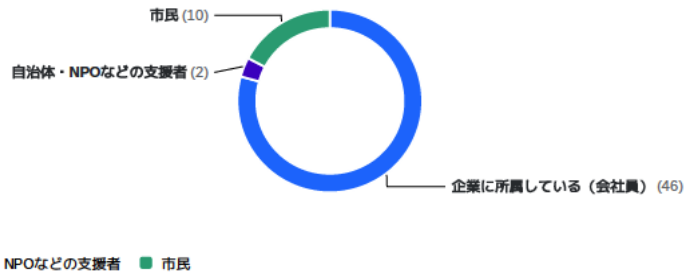
あなたの性別を教えてください。 58



あなたの年代を教えてください。 57

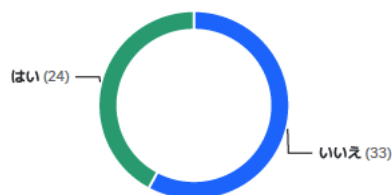


あなたの属性を教えてください。 58



全体概要

1.シェアハウス「花鳥風月」は「支援付き住宅」に位置づけられます。①空き家等の改修による住まいの提供と、②見守りや自立支援を併せて実施しようとする住まいを言います。「支援付き住宅」を知っていましたか。 57



2.シェアハウス「花鳥風月」は、賃貸住宅を借りたくても、入居が難しい「住宅確保要配慮者」に対応できる住宅で、賃貸料も廉価で、高齢者や障がい者、生活困窮者の皆さんに門戸を開いています。このようなシェアハウスについてどんな感想をお持ちになりましたか。自由に回答してください。 45

とても良いと思います。

シェアハウスという響きと、高齢者・障害者だけではなく、外国の方も良いというのは素敵だと思いました。金額に悩んでいる方は少なくないと思うので良いと感じます。

とても良い考え方ですし、ニーズも多いと感じました。

高齢者や障がい者の入居を拒まない住宅であること。また、大家や入居者の家族にとっても入居者が一人で生活するのではなくシェアハウスの他の入居者がいることで何かトラブルがあった時に気づくことが出来るので良いのではないかと思います。

親切的な取り組みだと思います

世の中に役立つ実践的な取り組みになっていて素晴らしいです。

素晴らしい

これから必要とされる事業だと存じます。

実際、居住探して困っている方の話はきくので、いい取り組みだと思います。支援付き住宅というのは高齢者など有り難いと思いますので、もっと広まるといいですね

グループホームとどう違うのでしょうか？

同様の取組みを普及させる為に、運営側への国の支援と認知度をあげるための告知が必須と思う

良い施設だと思います

良い試みだと思います

素晴らしい社会貢献と弱者救済と思います。

素晴らしい取り組みだと思います。

助かっている人がいるなら良いと思う

『支援付き住宅』という言葉は聞いたことがありますが、どのような方々を対象としているかなど具体的なことは知りませんでした。このようなシェアハウスがあることをもっと多くの方に知っていただけると、救われる方も増えると感じました。

素晴らしいことだと思います。

大変素晴らしい取り組みだと思う。

働けない方への救いとなるのでいいと思う

良い取り組みだと思います、

年齢がいくと、身内が減ってくるので、近くに、仲間がいると気持ちも明るくなり安心もできるのでいいと思います。これから、日本が良くなっていくのかわからない中、老後も今若い層の方々も 将来や現在 不安に感じている方がほとんどなので、とても心強いと思います。

賃金格差もあり、高齢化社会に向け先駆けで非常に時代に合っていて、良いと思う

特になし

良いと思います。

さまざまな方への選択肢が増えていいと思います。

賃貸料が廉価なのは良いことだと思います。入居の条件等あるのでしょうか？ 保証人は必要でしょうか？

生活困窮者が少しでも救われ、社会貢献、またその御家族等にも救いの手になる選択肢として良いと思う。

素晴らしい取り組みだと思う

空き家問題と特に高齢者の住宅困窮問題をともに解決できる手法だと思いましたが、利用料が少し高いと感じました。

アパートだと一人暮らしは無理なので、そんな人には寂しくなく安心だと思いました

自分の将来のことを考えても そういうところがあると安心出来ます

特になし

高齢だと部屋を借りることが出来ない。と聞いたことがあります。シェアハウスであれば、孤独死なんて悲惨な事もないはずです。高齢になっても安心して暮らせて良いと思います。

弱者の味方

住宅弱者にとって、大変良い事だと思います。

良い取り組みだと思いました

独り身の高齢者の方も多いと思います。とてもいいと思います。

特になし

いいと思います。

とても良いと思います。

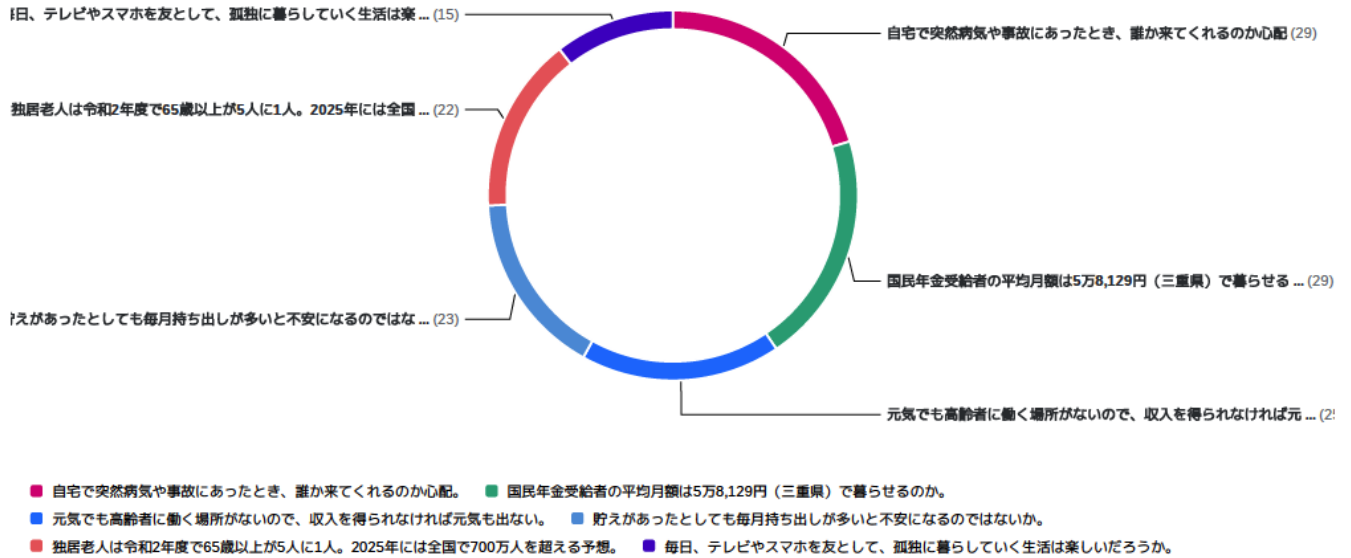
高齢者が賃貸住宅に入るのが難しいと多々報道されています。そんな中で支援付きのシェアハウスが出来て行くのは心強く明るく感じられます。

有難い。必要としている人に情報が届いて欲しい。

とても素晴らしいことだと思います

生活困窮者に優しい住宅だと思います。

3.「高齢者・障がい者の居住環境」について、以下の疑問を持ち、その解決策としてシェアハウス「花鳥風月」を開設しました。どれに関心をお持ちですか？（いくつでも選んでください） 54



4.高齢者になったとき、あなたはどんな人生を送りたいですか。自由にお書きください。 45

楽しく毎日笑顔で暮らしたい。お金にあまり苦労したくないです。生涯現役で仕事がしたい。高齢者になると年金生活や保証人問題等も心配です。安心して生活したい。

様々な方とのコミュニケーションはとりたいと思います。

夫婦と一緒に暮らしていくことが理想ですが、配偶者に先立たれて一人になったとき場合でも安心して生活できることは大事だと思います。

心配事のない健康な暮らしをしたい

趣味に没頭したいです。同じ趣味の人と交流したい。

お金持ち

他者との交流を持ち続けたいです。

自由に過ごしたい

収入があって、自分のやりたい事好きな事をして日々を過ごしたい。

自由にお出掛けしてお買い物やコンサート、美術館に出掛け、お金のある暮らし

同じ価値観の知人、友人と語れる場を設けたい

健康で少しでも長生きしたい

お金に心配が無く、好きなことを好きな時間で出来ること

人に迷惑をかけずに自立出来ること。余裕のある貯蓄。高齢でも仕事はしたい。

平和に暮らしたいです

最後まで自分らしくどんな時も喜びの中で過ごしていきたいです。

お金のことを気にせず、これまで出来なかったことを自由にやりたい

自然豊かなところで 趣味を楽しみ、語らいがあり 音楽があり、心穏やかに暮らしたい。

不自由ない生活

自然の中で心落ち着いて、豊かに暮らしたい

バリアフリーが充実したところで生活したいです。

健康で、お金にも余裕があり、人に囲まれて、明るくて楽しい人生を送りたいです。

年齢に合った趣味などをして穏やかに過ごしたい

自由で選択肢が多い

快適に暮らしていきたい。

ゆっくり優雅に過ごしたい。

自由なしばりのない人生

他人に迷惑をかけず暮らしたい

金銭面等不自由の無い暮らし

家と畑と、たまに話す位の距離感の友人知人近所の人。独立した生活を送りたい

趣味を楽しみたい おしゃべりする人や、友達と動ける限り出心が落ち着けていつまでも人の集まる所にいたい

自分の事は自分で出来る生活

特になし

元気に楽しく過ごしたい。

ストレスを感じないように生きていきたい。

自由に暮らしたいです。

楽しみを持ち生きがいのある生活

静かに暮らせる人生を送りたい

豊かで田舎に暮らしたい

いつも、笑いの絶えない生活をしているので、高齢者になっても変わらないと思う。

のどかに暮らしたい

出来るかぎり自立しながら穏やかに暮らしたい。

自分の事は自分でしたい

周りの家族が安心して生活出来るような人生

誰かに助けを求めやすい環境にたいです。

5.当社では、シェアハウス「花鳥風月」を第1弾として、「交響の家プロジェクト」として進め、「一緒に暮らし、働く意欲のある人は働くことができる、楽しく生活して喜び合える空間」をいくつも展開し、より多くの人々が幸福に生きられるよう貢献していきたいと考えています。だれもが幸福に生きられる環境とは、どんな環境だと想像しますか。自由にお書きください。 37

お互いを思い合い、助け合いができる環境はとても幸福だと思います。

何らかの生きがいを持って生活できることが大事だと思います

食料、水、自然が十分にあり、お金の心配のない環境

自由である事

必要とされる、笑い合えることが幸福に生きられる環境だと思います。

幸福を感じるのは人それぞれですが、「人が居る環境」は大事だと思います。気持ち的にも独りじゃないって感じるのです。気になる金銭面も、働くことでお金を稼げると思うと生き生きする方もいるので、幸福に繋がるのでは?と思います。

お金の心配がなく、気の合う仲間と良い距離を保って生活を

人としての人権を守られて干渉されず自由に楽しくくらしたい。たとえ、ものすごく仲の良い友だちでもずっと一緒にいれば不満も出てきてしまうので適度に自由で、例えばこの人とは絶対無理という人がいたとしたら学校のクラス替えみたく他のところに移れるとか?

4での回答と同じ

みんなと一緒にすめることは、良い施設だと思います!

助け合いのある共同体。

笑顔のある環境です。苦しくてもつらくても、それを楽しめる心を持つ事が大事だと思います。

お金の困らないこと。無理に働かなくても穏やかに暮らしていける環境があればいいと思う。

根底には何か不足の事態に身を委ねる事ができる安心、安寧だと思われます

衣食住が成り立っている生活

プライバシーも守られる プライベート空間の充実、そして、緑豊かの中で笑顔溢れる空間を作れる環境だと思います。

人間関係や給与が良い環境

家族のように、一緒に笑ったり、泣いたり、楽しんだり、困った時は助け合える仲間に囲まれる生活が、人は生きるいきがいのかな？と思います。

清潔で安全プライベートが守られている。自由で余裕のある生活

一人一人思いやりがある環境にしていきたい。

衣食住がしっかりしている事

自分の意思でやりたいことを選択肢してやれる環境

働いて、生活に困らない額のお金を稼ぎ、あとは自分の趣味に時間とお金を使い、たまに友人と遊べる環境

差別や貧困の無い環境

それぞれの理想が選択できる環境

健康で美味しく食べられてお金に困らない生活をしたい 花やネコに囲まれていたい

特になし

家族、地域社会と関わりながら、自分が役に立っている。と感じられると良いです。医療費の心配が無く、衣食住の心配もなくて良いと更に良いです。

人と人が関わっていく事

人権の尊重と自由な暮らしが幸福に暮らせる環境だと思います。

助け合い支え合える環境

みんな平等に生きる

特になし

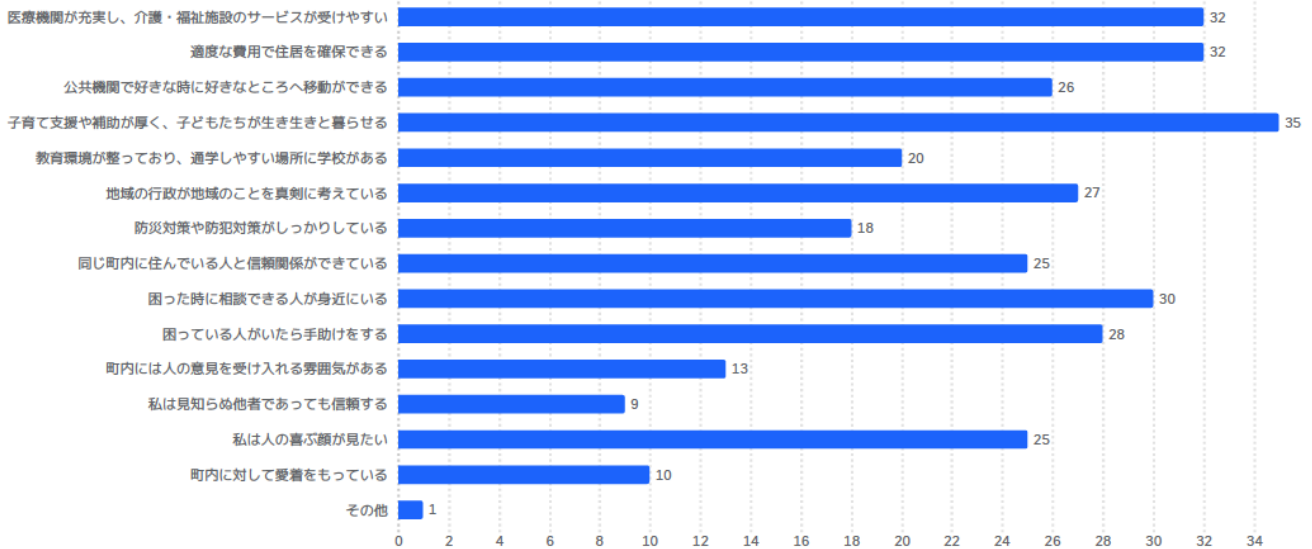
みんなが楽しいと思える環境。

プライバシーと人との生活の安心感のバランスが良い。人との距離感が自由。自由とルールとのバランスが良い。

コミュニケーションが取れて笑いが絶えない環境

幸福の定義は一人一人違うと思うので、環境1つで全員が幸福になるのは難しいと思います。

6.2023年の「世界幸福度ランキング」（SDSN/世界幸福度調査）で、日本は137カ国中、47位でした。一方、平均寿命は世界で日本が第1位で、長生きできても幸福度ランキングとはギャップがあることがわかります。すべての人々が生涯を幸福に生きるためには、どんな地域社会・人間関係ができているとよいと思いますか？（いくつでも選んでください） 54



7.国連が制定した目標に「SDGs（エス・ディー・ジーズ）」があり、目標達成を2030年としています。その宣言文の中に「誰一人取り残さない」（誰一人取り残されない、とも訳される）という文言があります。そんな社会づくりに参加するとしたら、あなたは、どんな社会をつくりたいと思いますか。自由にお書きください。 31

未来を見い出せる社会を作りたいです。

個々人の考え方を尊重しながらも自分よがりにならないように皆で支えあうことが出来る社会

差別のない平和な助け合いの社会

コミュニティを作りたいです。今後の未来を担う子どもたちに本質的に必要とされる、これまでの概念を無くした学校を設立したいです。

皆が周り等に手を差し伸べられる社会。疎遠、コミュニティの輪の縮小化など人口減少が関連しているからこそその、取り組み。協力体制をいかに作るか!?と言うところかと思えます

私は今、一人の人間のために夫婦関係まで危うくなる事態に追い込まれています。どんな世界に聞そんな人間はいるのでしょうか、そんな人は周りに毒を撒き散らし皆から嫌われています。そんな人ってもう性格を直すことはできないと思うので近寄らないに越したことはないのですが、同じ会社や団体に属していたらそんなわけにもいかず、それを思うと老後、シェアハウスもいい考えだとお舞うのですが、最初はとてもいい人だと思ったのが、人間どうなっていくかわからず誰とも付かず離れずいい案配に暮らしている方がいいと思うようになりました。

健康なうちはシェアハウスのようなところに入居して、みんなで生活できたら楽しいと思う!

博愛を中心におき高齢者でも常に博愛、道徳等の勉強が出来て、学習をしながら思いやりの社会を構築したい。

全ての人々は一つの家族であり、自分を大切にするように周りの方を大切にできる心で過ごしていくことで、自然と平和な社会になっていく空間や場をつくっていきたい。

生活を送る中で心にも身体にも余裕が持てる社会

福祉を根底にした 愛ある街づくり

どんな環境でも働けるうちは働ける環境をつくる

多様性を一人ひとりが認める社会

不公平がない会社

どのような方であれ生き生き活動や生活ができ、自ら自立や支援が必要であれば受けてサポートされながらも社会の中で一人一人の価値が見出せる社会

昔のような村や町単位でのコミュニティが理想に思える

わかりません

よく分からない

いつまでも信頼しあって人と付き合っていきたい

高齢になっても必要最低限の生活が送れる社会

特になし

誰でも、やってみたい事に挑戦出来る社会が良いです。

戦争のない社会

大変難しい事ですが、誰もが、自由に何不自由なく、関心を持てる社会づくりをしたいと思います。|

1人ひとりが幸福を感じるられる

分かりません

特になし

1人と残さない社会。

車を運転出来なくても、どこにでも行ける社会

顔見知りじゃなくても手を取り合える社会

助け合いがしやすい社会

以上。

アンケート質問一覧

菰野町シェアハウス「花鳥風月」から
幸福を考えるアンケート調査へ、参加のお願い

実施目的：古民家を回収したシェアハウス（支援付き住宅型）の住まい方モデルを確立する
実施対象：三重県内に居住の方(地域住民、行政・団体職員、福祉関連団体や NPO 法人等支援団体など)
調査期間：2023 年 10 月 17 日（火）～10 月 24 日

2023 年 8 月、「住宅確保用配慮者」向けのシェアハウス第 1 号として「花鳥風月」をオープンしました。
空き家だった平屋住宅 2 棟をリフォームした、全 11 室の住まいです。

「住宅確保要配慮者向け」と、増え続ける「空き家問題」をマッチングさせた新しい住まい方のビジネスモデル確立を目指しています。

添付資料にもありますように、いわば「思いをつなぐ家」、「楽しく生きがいを育む家」実現に尽力し、すべての人々が幸せな人生をおくるための支援をしていきたいと思っております。この実現に向けてアンケート調査を実施することとしました。皆様のご意見をお聞かせください。

1. シェアハウス「花鳥風月」は「支援付き住宅」に位置づけられます。

①空き家等の改修による住まいの提供と、②見守りや自立支援を併せて実施しようとする住まいを言います。「支援付き住宅」を知っていましたか。

- はい
 いいえ

2. シェアハウス「花鳥風月」は、賃貸住宅を借りたくても、入居が難しい「住宅確保要配慮者」に対応できる住宅で、賃貸料も廉価で、高齢者や障がい者、生活困窮者の皆さんに門戸を開いています。このようなシェアハウスについてどんな感想をお持ちになりましたか。自由に回答してください。

【
】

3. 「高齢者・障がい者の居住環境」について、以下の疑問を持ち、その解決策としてシェアハウス「花鳥風月」を開設しました。

どれに関心をおもちですか？（いくつでも選んでください）

- (1)独居老人は令和 2 年度で 65 歳以上が 5 人に 1 人。2025 年には全国で 700 万人を超える予想。
- (2)国民年金受給者の平均月額が 5 万 8,129 円（三重県）で暮らせるのか
- (3)貯えがあったとしても毎月持ち出しが多いと不安になるのではないのか
- (4)毎日、テレビやスマホを友として、孤独に暮らしていく生活は楽しいだろうか
- (5)自宅で突然病気や事故にあったとき、誰が来てくれるのか心配
- (6)元気でも高齢者に働く場所がないので、収入を得られなければ元気も出ない

高齢者になったとき、あなたはどんな人生を送りたいですか。自由にお書きください。

【
】

4. 当社では、シェアハウス「花鳥風月」を第1弾として、「交響の家プロジェクト」として進め、「一緒に暮らし、働く意欲のある人は働くことができる、楽しく生活して喜び合える空間」をいくつも展開し、より多くの人々が幸福に生きられるよう貢献していきたいと考えています。

だれもが幸福に生きられる環境とは、どんな環境だと想像しますか。自由にお書きください。

【
】

5. 2023年の「世界幸福度ランキング」(SDSN/世界幸福度報告書)で、日本は137カ国中47位でした。一方、平均寿命は世界で日本が第一位で、長生きできても幸福度ランキングとはギャップがあることがわかります。

全ての人々が生涯を幸福に生きるためには、どんな地域社会・人間関係ができているとよいと思いますか？(いくつでも選んでください)

(1)医療機関が充実し、介護・福祉施設のサービスが受けやすい

(2)適度な費用で住居を確保できる

(3)公共機関で好きな時に好きなところへ移動ができる

(4)子育て支援や補助が厚く、子どもたちが生き生きと暮らせる

(5)教育環境が整っており、通学しやすい場所に学校がある。

(6)地域の行政が地域のことを真剣に考えている

(7)防災対策や防犯対策がしっかりしている

(8)同じ町内に住んでいる人と信頼関係ができている

(9)困ったときに相談できる人が身近にいる

(10)困っている人がいたら手助けをする

(11)町内には人の意見を受け入れる雰囲気がある

(12)私は見知らぬ他者であっても信頼する

(13)私は人の喜ぶ顔が見たい

(14)町内に対して愛着をもっている。

(15)その他 ()

6. 国連が制定した目標に「SDGs(エス・ディー・ジーズ)」があり、目標達成年を2030年としています。その宣言文の中に「誰一人取り残さない」(誰一人取り残されない、とも訳される)という文言があります。そんな社会づくりに参加するとしたら、あなたは、どんな社会をつくりたいと思いますか。

自由にお書きください。

【
】

以上

実施 2 のまとめ

1. 実施目的：「住宅確保要配慮者」と、「空き家問題」をマッチングした社会課題解決型シェアハウスへの関心度を把握する。
2. 回答数：67
3. 属性：会社員、自治体・NPO などの支援者、市民（男女）

【調査結果】

【プロフィール】

1. 性別：
女性 38 人、男性 19 人、回答したくない 1 人（総回答数：58）
2. 年代：
20 代以上～30 代未満 10 人
30 代以上～40 代未満 8 人
40 代以上～50 代未満 20 人
50 代以上～60 代未満 10 人
60 代以上～70 代未満 8 人
70 代以上～ 1 人
3. 属性
会社員 46 人
自治体・NPO などの支援者 2 人
市民 10 人

【設問に対する回答】

1. シェアハウス「花鳥風月」は「支援付き住宅」に位置づけられます。
① 空き家等の改修による住まいの提供と、②見守りや自立支援を併せて実施しようとする住まいを言います。「支援付き住宅」を知っていましたか。
はい 24 人
いいえ 33 人

監修者付言 まず、設問の分析にあたって、回答者の属性の特徴を踏まえておかなければならない。

①住宅確保用配慮者の存在への認識、あるいは住宅確保用配慮者になるかもしれないという危機感からはまだ遠い、50 歳代未満のものが 38 人と回答者の半数を占めること、また、②男性と比べて地域とのつながりが比較的深くまた身の回りのことをすることが多くそれだけに住宅確保要配慮者の存在もその支援の必要性もあまり想像する必要のない女性も回答者の半数を占めること、さらに③今のところ安定した収入を見込むことのできる会社員が大多数を占めるという回答者の属性である。これらの回答者の属性を常に考慮しながら、各設問の分析をしていかなければならない。

例えば、この回答者の属性から判断すると、「支援付き住宅」の存在を知っているものが 24 名と比較

少数にとどまっていたことは何ら不思議ではない。むしろ、24人もがよく知っていたというべきかもしれない。とすれば、この24人がどのようなルート、あるいは経験から「支援付き住宅」の存在を知ったのかを何らかの形で調査することは、今後、「支援付き住宅」の認知度を上げていくためには有効な手段となるかもしれない。次の自由回答欄で示されているように、知れば高く評価される取り組みであるだけに、その前提となる情報の提供の仕方をこのアンケート調査をもとにさらに検討していかなければならない。

2. シェアハウス「花鳥風月」は、賃貸住宅を借りたくても、入居が難しい「住宅確保要配慮者」に対応できる住宅で、賃貸料も廉価で、高齢者や障がい者、生活困窮者の皆さんに門戸を開いています。感想を自由に回答してください。(自由回答：回答数 45)

【自由回答：抜粋】

- ・シェアハウスという響きと、高齢者・障がい者だけでなく、外国の方もよいというのは素敵だ。金額に悩んでいる人も少なくないと思うのでよいと感じる。
- ・とてもよい考えだと思う。ニーズも多いと感じる。
- ・高齢者・障がい者の入居を拒まない住宅であること。大家や入居者家族にとっても入居者が一人で生活するのではなく、シェアハウスの他の入居者がいることで何かトラブルがあった時に気づくことがあるのでよいと思う。
- ・親切な取り組みである。
- ・世の中に役立つ実践的な取り組みだ。
- ・これから必要とされる事業だ。
- ・素晴らしい社会貢献と弱者救済だ。
- ・このようなシェアハウスがあることをもっと多くの人に知ってもらいと救われる人も増えると感じた。
- ・働けない人の救いになると思う。
- ・賃金格差もあり、高齢社会に向け、さきがけで時代に合っていると思う。
- ・生活困窮者が少しでも救われ、ご家族にも救いとなる選択肢としてよい。
- ・グループホームとどう違うのか。
- ・同様の取り組みを普及させるために、運営側への国の支援と認知度を上げるための告知が必須だと思う。
- ・住宅弱者にとって大変よい。
- ・独り身の高齢者も多いと思います。とてもよい。
- ・賃貸料が廉価なのはよい、入居の条件はあるのか。保証人は必要か。
- ・利用料が少し高いと感じた。
- ・高齢だと部屋を借りることができないと聞いたことがある。シェアハウスなら孤独死なんて悲惨なこともないはず。高齢でも安心して暮らせてよい。心強く感じられる。
- ・ありがたい。必要としている人に情報が届いてほしい。

2.まとめ

1. 「高齢者・障がい者の入居を拒まない住宅である」こと、「弱者救済の取り組みである」ことが好評価を得ている。
2. 「シェアハウスなら孤独死なんて悲惨なこともないはず」、「高齢でも安心して暮らせてよい」、「心

強く感じられる」と、安全・安心が評価されている。

3. 「高齢だと部屋を借りることができないと聞いたことがある」、「シェアハウスなら孤独死なんて悲惨なこともないはず。高齢でも安心して暮らせてよい。心強い」と好評価を得ている。
4. 「必要としている人に情報が届いてほしい」、「運営側への国の支援と認知度を上げるための告知が必須だ」と、告知の必要性が上げられている。
5. 「グループホームとの違い」、「必要としている人に情報が届く方法を」との声が上げられている。

3. 「高齢者・障がい者の居住環境」について以下の疑問を持ち、その解決策としてシェアハウス「花鳥風月」を開設しました。どれに関心がありますか。(複数回答可)

3.まとめ

【自由回答：抜粋上位5項目】

1. 自宅で突然病気や事故にあったとき、誰が来てくれるのか心配・・・29人
 2. 国民年金受給者の平均月額が58,129円(三重県)で暮らせる・・・29人
 3. 元気でも高齢者に働く場所がないので、収入を得られなければ元気も出ない・25人
 4. 貯えがあったとしても、毎月持ち出しが多いと不安になるのではないか・・・23人
 5. 独居老人は令和2年度で65歳以上が5人に1人。2025年には全国で700万人を超える予想・・・22人
4. 高齢者になったとき、どんな人生を送りたいですか。(自由回答：回答数45)

【自由回答：抜粋】

- ・楽しく毎日笑顔で暮らしたい。
- ・お金にあまり苦労したくない。
- ・生涯現役で仕事がしたい。
- ・安心して生活したい。
- ・高齢者になると年金生活や保証人問題も心配だ。
- ・他社との交流を持ち続けたい。
- ・健康で少しでも長生きしたい。
- ・人に迷惑をかけず、自立できること。
- ・最後まで自分らしくどんな時も喜びの中で過ごしたい。
- ・バリアフリーが充実したところで生活したい。
- ・自由なしばりのない人生
- ・ストレスを感じないように生きていきたい。
- ・静かに暮らせる人生を送りたい。
- ・周りの家族が安心して生活できることが大事。
- ・誰かに助けを求めやすい環境にいたい。

4.まとめ

安心できる生活、健康で長生き、自由なしばりのない人生、自立、生涯現役、他者との交流、家族が安心できる生活、誰かに助けを求めやすい環境などのキーワードが浮き彫りにされた。

5.誰もが幸福に生きられる環境とはどんな環境だと想像しますか。(回答数 37)

【自由回答：抜粋】

- ・互いを思い合い、助け合いができる環境。
- ・生きがいを持って生きること。
- ・自由であること。
- ・人がいる環境。
- ・食料、水、自然が十分にあり、お金の心配のない環境。
- ・衣食住が成り立っている生活。
- ・人としての人権を守られている環境。
- ・助け合いのある共同体。
- ・清潔で安全・プライバシーが守られている。
- ・差別や貧困のない環境。
- ・医療費の心配や、衣食住の心配がない環境。

5.まとめ

・差別や貧困のない生活、人としての人権が守られている生活、衣食住が成り立っている生活、医療費の心配がない生活、清潔で安全・安心な生活、プライバシーが守られている生活などが上げられた。

6.すべての人々が生涯を幸福に生きるためには、どんな地域社会・人間関係ができているとよいか。(自由回答・回答数 54)

6.まとめ

【上位5項目】

1. 子育て支援や補助が厚く、子どもたちが生き生きと暮らせる………35人
2. 医療機関が充実し、介護・福祉施設のサービスが受けやすい………32人
3. 適度な費用で住居を確保できる………32人
4. 困った時に相談できる人が身近にいる………30人
5. 困っている人がいたら手助けをする………28人

7.「誰一人取り残さない」社会づくりに参加するとしたら、どんな社会をつくりたいか。

(回答数 37)

【自由回答：抜粋】

- ・未来を見出せる社会。
- ・個々人の考えを尊重しながら皆で支え合うことのできる社会。
- ・皆が周囲に手を差しのべられる社会。
- ・差別のない平和な助け合いの社会。
- ・福祉を根底にした、愛あるまちづくり。
- ・多様性、一人ひとりを認める社会。
- ・不公平がない社会。
- ・一人ひとりの価値が見出せる社会

- ・戦争のない社会。

7. まとめ

・戦争のない平和な社会、不公平がない社会、福祉を根底にした愛ある社会、多様性を認め合える社会、支え合える社会、一人ひとりを認める社会、未来を見出せる社会が上げられた。

監修者付言 今回の二つのアンケート調査の結果を通じて、今後、取り組むべき大きな課題として浮上してきたことは、「いかにSDGsの諸目標の実現に向けての課題解決を自分事にするか」ということに尽きるような気がする。

本「幸福を考えるアンケート」の最後の設問「『誰一人取り残さない』社会づくりに参加するとしたら、どんな社会を作りたいか」という問いに対する自由回答は望ましい社会像としてそれぞれ強く首肯できる。その一方で、「高齢者になったとき、どんな人生を送りたいですか。」という問いに対する自由回答は、当然、個人的な不安が多いだけに、その不安解消の方策は、「こんな生活を送りたい」とする「個人の願望」ベースとなっている。

問題は、この「個人の願望」を実現する方策である。具体的に言えば、「その個人の願望を誰が実現するのか」という主語の問題である。

我が国は、人口が増加する時代が経済の高度成長期と重なっていた。1947年のGDP10兆円から、1995年の生産年齢人口が最大数を記録した2年後の1997年のGDPは500兆円を超えるところまで至った。わずか50年にGDPは50倍になったのである。この間、毎年生産年齢人口が増加することから所得税を中心とする税収も、右肩上がりであった。この税収の多くは、住民生活の課題解決に投入された。しかし、このことが、50年以上にわたって、困ったことがあったら、あるいは、困りそうなことがあったら、その解決を他者、特に、国や自治体に求めることが通例となっていった。すなわち、「いずれ誰かが課題を解決してくれるだろう」という意識の蔓延である。

ところが、残念ながら、1995年以降生産年齢人口は急減し、所得税中心の税収構造に危機感を覚えた国が、将来に備えて導入したはずの消費税制度は、導入当初からまた税率を引き上げるたびに個人消費を中心とした景気の落ち込みを招き、公共事業というカンフル剤を打ち続けた。さらに、労働力不足を補いかつ景気の動向に即応できる非正規雇用を増加させた結果、団塊の世代の一斉リタイアは防げたものの、特に、若い世代の正規雇用と収入減を招き、少子化はさらに加速することとなった。

このような状況で、今後、超高齢化と介護を要する高齢者の急増、道路・橋梁、そして住宅といった経済成長期に新規に建設する一方だった生活インフラは、一気に老朽化し、特に住宅は、一世帯一住宅を国策として進めてきただけに、2020年には、世帯数がピークを迎えた、最終的な高齢化・人口減少の場面では、膨大な空き家として残されることが確実にになっている。

このように、確実に「下りていく時代」になっていることから、国や自治体にこれまでのように何でもやってくれることを期待するわけにはいかない。むしろ、行政には、生活インフラの再整備や介護保険制度等のセーフティネットの維持を期待しつつ、人口増の時代に国や自治体任せにして、要望しさえすればいつか実現するという姿勢に慣れてしまった我々が、今、やらなければならないことは、まさにセーフティネット以外の部分において課題を自分事として捉え、解決に向けて自ら動くことである。

ただ、それは、個人、一人だけでは、実現不可能なものが多い。

本「幸福を考えるアンケート」の「誰もが幸福に生きられる環境とはどんな環境だと想像しますか。」との設問に寄せられた自由回答を生かして叙述すれば、例えば、「互いを思い合い、助け合いができる環境」や「助け合いのある共同体」、「人としての人権を守られている環境」があげられているように、個人ではなく、人としてのつながりの重要性が指摘されている。この観点、特にコロナ禍によって、なお一層、重要性が再認識された部分でもある。

したがって、今後、シェアハウス「花鳥風月」が「人がいる環境」の形成を目指すのであれば、それは、「清潔で安全・プライバシーが守られている」あるいは「食料、水、自然が十分にあり、お金の心配のない環境」、「衣食住が成り立っている」という生活入居者同士のコミュニティ形成だけではなく、地域と共存共栄でき、地域の持続可能性を高めるシェアハウス「花鳥風月」でなければならない。

具体的には、シェアハウス「花鳥風月」だけではなく、菰野町という地域が SDGs の目標を指針として「差別や貧困のない環境」、「医療費の心配や、衣食住の心配がない環境」を目指すために、シェアハウス「花鳥風月」の入居者と地域住民とが「自由でありつつも「生きがいを持って生きること」ができるような環境を整備していくことである。

具体的には、既に試みられているような「農業分野」での地域とのつながり形成や在宅高齢者に対して、動くことのできる高齢者による「生活支援事業」、「移送サービス」等である。

幸いにして、2022 年秋には、労働者協同組合制度が施行された。出資し、働く、そして報酬を受け取ることができる新たな法人格が誕生したのである。

シェアハウス「花鳥風月」を核として、マイクロビジネス、コミュニティビジネスを展開しつつ、地域と共に生きる施設を目指す具体的な事業を、入居者と共に考えていくことが今後、必須となっていくであろう。

労働者協同組合の主な特色	
(1) 地域における多様な需要に応じた事業ができる	労働者派遣事業を除くあらゆる事業が可能。※許認可等が必要な事業についてはその規制を受ける。 介護・福祉関連（訪問介護等）、子育て関連（学童保育等）、地域づくり関連（農産物加工品販売所等の拠点整備等）等
(2) 組合員の議決権、選挙権は平等	株式会社と異なり、出資額にかかわらず、組合員は平等に 1 人 1 票の議決権と選挙権。
(3) 簡単に法人格を取得でき、契約などができる	NPO 法人（認証主義）や企業組合（認可主義）と異なり、行政庁による許認可等を必要とせず、法律に定めた要件を満たし、登記をすれば法人格が付与される（準則主義）。 これらの法人よりも少ない人数である、3 人以上の発起人が揃えば設立可能。
(4) 組合員は労働契約を締結する必要がある	組合員は労働基準法、最低賃金法、労働組合法などの法令による労働者として保護される。
(5) 出資配当はできない（非営利）	配当を行う場合、出資額に応じてではなく、組合の事業に従事した分量に応じて行う。
(6) 都道府県知事による監督を受ける	毎年度、決算関係書類などを提出する必要があるなど、都道府県知事による監督を受ける。

総まとめ

1. シェアハウス「花鳥風月」のコンセプトが理解され、総じて好意をもって受け止められており、社会における役割への期待が高い。
2. シェアハウス「花鳥風月」の広報や告知が、自治体や関係団体との連携で行われることが望まれており、そのことが高齢者や障がい者の安全・安心な生活につながることを望まれている。
3. 健康で自立した生活を送ることが基本で、困った時には相談できる人や場所が身近にあることが求められている。

以上から、シェアハウス「花鳥風月」の社会的役割への期待は大きく、多様性や生涯現役といった個人の自立から、一人ひとりの考えを尊重しながら皆で支え合い、生涯を自分らしく送れる、未来を見出せる社会実現の取り組みであると認識されていることがわかった。

同時のシェアハウス「花鳥風月」のコンセプトや取り組みの、自治体や関係者と連携した広報・告知によって、より多くの人々に安心や幸福感をもたらすことも期待された。

以上